

# 弘済会とやま

## 教育振興事業のご案内

令和7年度版



夢ひろがる子どもたちのために



公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部



## はじめに

教職員の皆さま方には、日頃から大変お世話になり、ありがとうございます。

今年度も、日本教育公務員弘済会富山支部では、教育振興事業の応募がしやすくなるよう「弘済会とやま『教育振興事業のご案内』」を作成しました。昨年度から弘済会富山支部ホームページに掲載したこの電子ブックをご覧ください、ご活用いただければ幸いです。

さて、表紙について説明します。表紙に描かれているイラスト画は、小学校、中学校、高等学校へと夢や希望を追い求めて、健やかに成長していく子どもたちの様子を表しています。

子どもはどの子も等しく、ぎゅっと手を握りしめて生まれてきます。そして、その握りしめられた手の中には、将来の夢や希望が抱かれているのですが、手のひらを広げた瞬間にその夢や希望は見えなくなってしまうそうです。

子どもたちは先生や友だちと出会い、先生の教えのもと、友だちとの学びを大切にしながら、自ら目標をもって努力したり新しいことに果敢にチャレンジしたりすることで、自分が生まれたときに握りしめていたはずの夢や希望を追い求めていきます。才能や個性を伸ばしながら歩み続ける子どもたちの姿なのです。

また、柔らかな題字の 弘済会とやま は、“ぬくもり”のある教育を子どもたちと共に創りあげておられる“とやま”の先生方に、少しでも弘済会の事業が役立つことができればありがたいという、私たち弘済会富山支部の想いを込めたものです。

夢ひろがる子どもたちのために、今後とも、教職員の皆さまに末永くご愛顧いただける事業を展開してまいりますので、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



☆公益事業であります教育振興事業は、全教職員を対象に、「公募申請」「選考」「結果の公表」「成果の報告」の4つの過程を踏み事業を展開しています。

### 【協力】

イラスト画：濱井 理先生（富山県教職員）

題 字：青山拓也先生（富山県教職員）

令和7年4月吉日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部

## 「弘済会とやま」教育振興事業のご案内

「弘済会とやま」教育振興事業のご案内は、『**電子ブック**』になりました。

## 弘済会富山支部HPからのWEB申請（報告）

# 教育振興事業は WEBでの申請（報告）になります。



令和7年度の申請は



よつば先生

## WEB申請（報告）

当会HPの「申請（報告）フォーム」に入力いただくと  
申請書（報告書）ができあがります。必要資料を添付して  
送信（3頁参照）

**送信いただくと申請（報告）が完了になります。**

※職印や代表者印の押印は必要ありません。

※必要資料は添付してください。

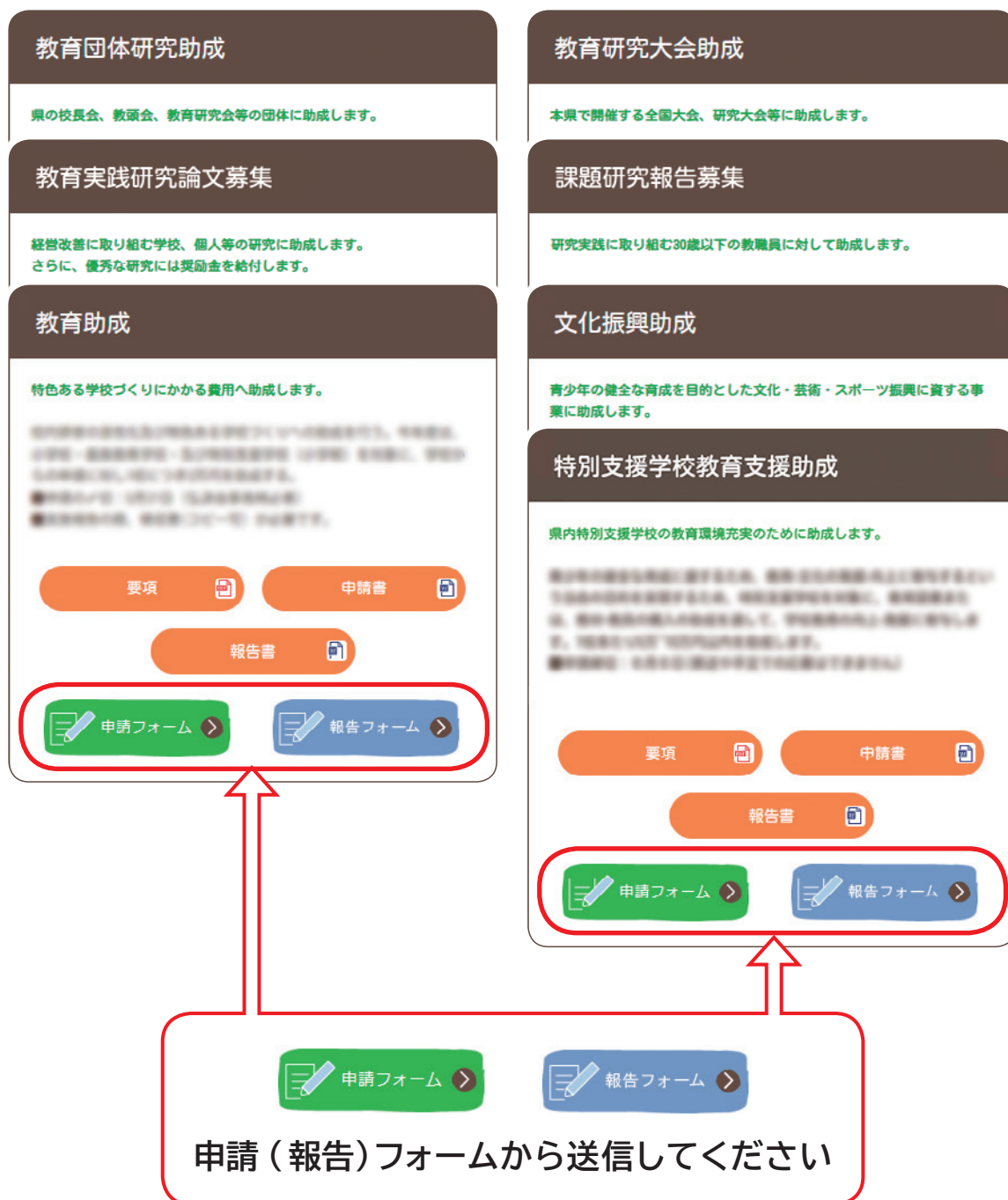
## 問い合わせ先

〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内  
公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部

**TEL(076)464-3703**

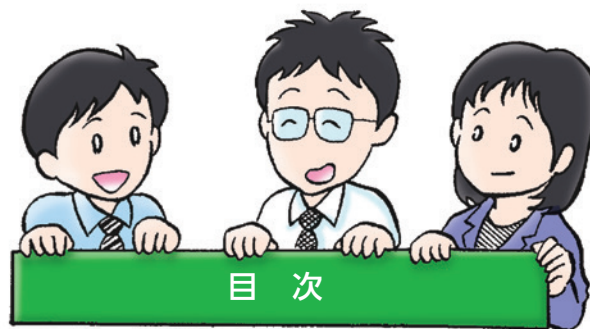
◇HP(ホームページ)のそれぞれの事業の申請(報告)フォームに  
必要資料を添付して申請(報告)できます。

※**WEB申請(報告)は下の7事業です。**



申請締切 **令和7年6月6日(金)** (WEBのシステム上23:59を過ぎると申請できなくなります。)

報告締切 **事業により異なります。**



| 頁             |                                                                                                      |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1             | はじめに                                                                                                 |
| 2・3           | 「弘済会とやま」教育振興事業のご案内・HPからのWEB申請                                                                        |
| <b>PART 1</b> | <b>教育研究助成事業</b> <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">WEBのみ</span>                      |
| 6・7           | 令和7年度 教育団体研究助成要項                                                                                     |
| 8             | 教育団体研究助成申請書〔様式〕                                                                                      |
| 9             | 教育団体研究助成申請書〈記入例〉                                                                                     |
| 10            | 教育団体研究助成報告書〔様式〕                                                                                      |
| 11            | 教育団体研究助成報告書〈記入例〉                                                                                     |
| 12            | <span style="background-color: #008000; color: white; padding: 2px;">情報の窓 I</span> 令和6年度 教育振興助成贈呈式から |
| 14・15         | 令和7年度 教育研究大会助成要項                                                                                     |
| 16            | 教育研究大会助成申請書〔様式〕                                                                                      |
| 17            | 教育研究大会助成申請書〈記入例〉                                                                                     |
| 18            | 教育研究大会助成報告書〔様式〕                                                                                      |
| 19            | 教育研究大会助成報告書〈記入例〉                                                                                     |
| 20・21         | 令和7年度 教育実践研究論文募集要項                                                                                   |
| 22            | 教育実践研究論文募集申請書（学校用）〔様式〕                                                                               |
| 23            | 教育実践研究論文募集申請書（学校用）〈記入例〉                                                                              |
| 24            | 教育実践研究論文募集（応募者用）（学校部門・個人部門）申請書〔様式〕                                                                   |
| 25            | 教育実践研究論文募集（応募者用）（学校部門・個人部門）申請書〈記入例〉                                                                  |
| 26            | 教育実践研究論文募集申込書〔様式〕                                                                                    |
| 27            | 教育実践研究論文募集申込書〈記入例〉                                                                                   |
| 28            | 教育実践研究論文募集報告書（学校用）〔様式〕                                                                               |
| 29            | 教育実践研究論文募集報告書（学校用）〈記入例〉                                                                              |
| 30            | 教育実践研究論文募集（論文）の書き方                                                                                   |
| 31            | 教育実践研究論文募集 ア：要旨様式例①                                                                                  |
| 32            | 教育実践研究論文募集 イ：本文様式例①                                                                                  |
| 33～37         | 教育実践研究論文募集論文例 ＊『令和6年度 実践報告集』から                                                                       |
| 38・39         | 令和7年度 課題研究報告募集要項                                                                                     |
| 40            | 課題研究報告募集申請書（学校用）〔様式〕                                                                                 |
| 41            | 課題研究報告募集申請書（学校用）〈記入例〉                                                                                |
| 42            | 課題研究報告募集申請書（応募者用）〔様式〕                                                                                |
| 43            | 課題研究報告募集申請書（応募者用）〈記入例〉                                                                               |

|              |                                            |
|--------------|--------------------------------------------|
| 44           | 課題研究報告募集申請書・報告書（学校票）〔様式〕                   |
| 45           | 課題研究報告募集申請書・報告書（学校票）〈記入例〉                  |
| 46           | 課題研究報告募集報告書（学校用）〔様式〕                       |
| 47           | 課題研究報告募集報告書（学校用）〈記入例〉                      |
| 48           | 課題研究報告募集報告書（応募者用）〔様式〕                      |
| 49           | 課題研究報告募集報告書（応募者用）〈記入例〉                     |
| 50           | 課題研究報告募集報告書例 * 『令和6年度 実践報告集』から             |
| 52・53        | 令和7年度 教育助成要項                               |
| 54           | 教育助成申請書〔様式〕                                |
| 55           | 教育助成申請書〈記入例〉                               |
| 56           | 教育助成報告書〔様式〕                                |
| 57           | 教育助成報告書〈記入例〉                               |
| 58           | 教育助成報告書例                                   |
| 59           | 領収書                                        |
| 60           | <b>情報の窓Ⅱ</b> 〔文化講演会〕令和6年度「富山の魅力発見講座Ⅶ」に参加して |
| <b>PART2</b> | <b>教育文化事業</b> <b>WEBのみ</b>                 |
| 61           | 令和7年度 文化振興助成要項                             |
| 62           | 文化振興助成申請書〔様式〕                              |
| 63           | 文化振興助成申請書〈記入例〉                             |
| 64           | 文化振興助成報告書〔様式〕                              |
| 65           | 文化振興助成報告書〈記入例〉                             |
| 66・67        | 令和7年度 特別支援学校教育支援助成募集要項                     |
| 68           | 特別支援学校教育支援助成申請書〔様式〕                        |
| 69           | 特別支援学校教育支援助成申請書〈記入例〉                       |
| 70           | 特別支援学校教育支援助成成果報告書〔様式〕                      |
| 71           | 特別支援学校教育支援助成成果報告書〈記入例〉                     |
| 72           | 特別支援学校教育支援助成購入報告書〔様式〕                      |
| 73           | 特別支援学校教育支援助成購入報告書〈記入例〉                     |
| <b>PART3</b> | <b>奨学事業</b> <b>申請（報告）は郵送・手交のみ</b>          |
| 75           | 令和7年度 貸与奨学生募集要項                            |
| 76           | 貸与奨学金申込書                                   |
| 77           | 令和7年度 給付奨学生募集要項                            |
| 78           | 給付奨学生申請書〔様式1〕                              |
| 79           | 高等学校等給付奨学生推薦書（学校用）〔様式2〕                    |
| 80           | 給付奨学生成果報告書〔様式3〕                            |
| 81           | 令和7年度 大学給付奨学生（予約型）募集要項                     |
| 82・83        | 令和7年度 大学給付奨学生（予約型）申請書                      |
| 84           | 大学給付奨学生（予約型）申請書チェックシート（収入・所得について）          |
| 85           | 令和7年度 大学給付奨学生（予約型）推薦書                      |





クローバー博士

## PART 1

# 教育研究助成事業

|                    |    |
|--------------------|----|
| 🍀 教育団体研究助成 .....   | 6  |
| 🍀 教育研究大会助成 .....   | 14 |
| 🍀 教育実践研究論文募集 ..... | 20 |
| 🍀 課題研究報告募集 .....   | 38 |
| 🍀 教育助成 .....       | 52 |
| 🍀 領収書 .....        | 59 |

## 令和 7 年度 教育団体研究助成要項

教育団体研究助成は、教育の振興に寄与すると認められる団体の特に有益な研究・活動に対し助成を行う事業です。

1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部

### 2. 助成要件

#### (1) 助成の趣旨

富山県の園長会、校長会、教頭会、教育研究会等の団体が令和 7 年度に行う、有益な研究・活動を対象とした助成を通して学校教育の向上発展に寄与します。

#### (2) 応募対象

教育関係団体及び教育研究団体

① 応募者が計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及び報告を行うことを条件とします。

② 1 年間（4 月 1 日から 3 月 31 日）で完了する研究・活動等とします。

#### (3) 助成の対象にならないもの

① 営利目的又は営利につながる可能性の大きいもの

② 他の機関からの委託によるもの

③ 既に終了しているもの

④ 自己の財源によって十分に研究活動ができるものは、当該申請は無効とし、以降の申請は受け付けられません

(4) 応募期間 令和 7 年 5 月 7 日（水）～ 令和 7 年 6 月 6 日（金）

(5) 助成金額 各団体からの申請に対し事業規模等を考慮し、30 万円未満の助成を行います。

#### (6) 助成対象外とする費用

① 応募する申請者本人の人件費及び謝金（共同者も含む。）

② 汎用性のある機器等の購入費

③ 組織等の一般管理費（例：懇親会等の飲食費）等

④ 海外旅費（ただし、国内旅費は申請額の 30% までとします。）

⑤ その他研究に直接関係がない講習会費、物品等

#### (7) スケジュール

令和 7 年 6 月下旬 教育振興事業選考委員会で選考を行います。

7 月上旬 採否の結果と助成金交付時期（8 月下旬予定）を文書にて通知します。

10 月上旬 贈呈（表彰）式を開催します。

11 月中旬 会報「教弘とやま」に助成一覧を掲載します。

### 3. 申請について（申請書はWEBの申請フォームから自動作成となります）2、3 頁参照

(1) 「団体の会則」及び「役員名簿」、「前年度の会計報告書」等の資料を添えて申請してください。

(2) 申請フォームに必要事項を入力し、送信してください。

(3) 適正に取得した個人情報に当会の教育振興事業の運営のために利用します。

### 4. 選考について

#### (1) 選考方法

日教弘富山支部教育振興事業選考委員会の選考後、富山支部幹事会の議を経て

支部長が対象者を決定します。

(2) 選考基準

事業の公益性・社会性・適正性・必要性・実現性の基準により選考します。

**5. 報告について(報告書はWEBの報告フォームから自動作成となります) 2、3頁参照**

- (1) 研究・活動等の終了後に経過・結果等に関する報告を提出してください。
- (2) 助成金は申請通りに使うこととし、領収書のコピーを必ず添付してください。  
尚、領収書は助成額以上となるようお願いします。(59頁参照)
- (3) 報告フォームに必要事項を入力し、送信してください。また、成果資料等があればフォームに添付してください。なお成果資料等は支部が公表できるものとします。

**6. 報告の提出日 令和8年2月27日(金)**

**7. その他注意事項**

- (1) 申請書及び成果報告書の記載内容については、担当者は、代表者(学校長等)に承認をもらった後に送信してください。
- (2) 提出された書類等は返却しません。
- (3) 書類管理の都合上、当支部への持参はお断りします。
- (4) 万一、故意の虚偽記載、同一テーマによる重複申請、又は研究倫理上の問題等が認められた場合は、当該申請は無効とし、以降の申請は受け付けられません。

**8. 問い合わせ先**

〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内  
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部  
TEL: 076-464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者

〒

所在地

団体名

Tel ( ) ー

代表者

職 名

氏 名

## 教育団体研究助成申請書

下記のような研究活動を実施するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙計画資料を添えて申請いたします。

## 記

## 1. 活動趣旨（概要）

## 2. 研究活動名

## 3. 組織概要

構成職種

構成人員

他団体との連携

## 4. 申請金額

## 5. 主な内訳

※飲食費等は助成の対象になりません。記入例参照

## 6. 添付書類

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

## 申請者

〒 930-△△△△

所在地 富山市〇〇町－△△

団体名

Tel ( 076 ) △△△－△△△△

## 代表者

職 名 会長

氏 名 魚津 一郎

## 教育団体研究助成申請書

下記のような研究活動を実施するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙計画資料を添えて申請いたします。

## 記

1. 活動趣旨（概要） 富山県〇〇教育の振興及び研修……資質向上を図る。

2. 研究活動名 学校経営課題把握のための調査研究活動

## 3. 組織概要

構成職種 富山県小・中学校長

構成人員 △△△名

他団体との連携 富山県〇〇会、東海・北陸地区〇〇会

4. 申請金額 △△△円

5. 主な内訳 会誌作成 △△△円

## 助成の対象にならないもの

- 1 営利目的又は営利につながる可能性の大きいもの
- 2 他の機関からの委託によるもの
- 3 既に終了しているもの
- 4 自己の財源によりできるもの

## 助成対象外とする費用

- 1 申請者本人の人件費等
- 2 汎用性のある機器等の購入費
- 3 懇親会等の飲食費
- 4 直接関係がない物品等

## 6. 添付書類

## 教育団体研究助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地

団体名

代表者 職 名

氏 名

連絡先(TEL)

下記のとおり領収書を添えて報告します。

|                    |                                  |
|--------------------|----------------------------------|
| 助 成 金 額            |                                  |
| 研究活動名              |                                  |
| 活 動 期 間            |                                  |
| 研究活動の<br>概 要       |                                  |
| 助 成 金 の<br>使 途 明 細 | ※飲食費等は助成の対象になりません。         (計 円) |

## 教育団体研究助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 富山市〇〇町－△△

団体名 富山県小学校長会

代表者 職 名 会長

氏 名 魚津 一郎

連絡先(TEL) 〇 7 6－〇〇〇－〇〇〇〇

下記のとおり領収書を添えて報告します。

|                    |                                                                                                                                           |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 助 成 金 額            | △△△円                                                                                                                                      |
| 研究活動名              |                                                                                                                                           |
| 活 動 期 間            | 令和7年4月1日～令和8年3月31日                                                                                                                        |
| 研究活動の概要            | <p>1 研究主題<br/>新たな知を拓き、人間性豊かな社会を築く、日本人の育成を目指す小学校教育の推進<br/>— 主体的・共同的に学び、心豊かに未来を生き抜く児童を育成する学校経営 —</p> <p>2 研修内容と成果<br/>別紙 「令和7年度研究紀要」 参照</p> |
| 助 成 金 の<br>使 途 明 細 | <p>・ 研究紀要の印刷製本費 △△△円</p> <p>※飲食費等は助成の対象になりません。 (計 △△△ 円)</p>                                                                              |

WEB報告のお願い：報告書および添付書類は PDF 形式にて報告フォームより送信してください。

〈添付書類〉 ・ 領収書（コピー）A4 用紙に貼付してください。（59頁参照）

・ 成果資料等があれば添付してください。



令和6年度 教育振興助成贈呈式から  
令和6年10月8日 会場：高志会館



弘済会富山支部 支部長 青木 正邦  
「式 辞」



教育振興事業選考委員会 委員長 神川 康子 様  
「励ましのことば」



富山県教育委員会 教育次長 中崎 健志 様  
「励ましのことば」



氷見市立北部中学校 校長 櫻打 佳浩 様  
「お礼のことば」



「教育団体研究助成」贈呈



「課題研究教育賞」贈呈



## 令和7年度 教育研究大会助成要項

教育研究大会助成は、本県を会場とする教育にかかる全国大会及びこれに準ずる大会、また、文部科学省、県教委、市町村教委、幼・小・中・高校教育研究団体の指定による大会、並びにこれに準ずると認められる大会の開催に当たり、その内容と大会規模に応じて予算の範囲内で助成を行う事業です。

1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部

### 2. 助成要件

#### (1) 助成の趣旨

富山県の教育関係団体及び教育研究団体が令和7年度に行う、有益な研究大会を対象とした助成を通して学校教育の向上発展に寄与します。

#### (2) 応募対象

教育関係団体及び教育研究団体

① 応募者が計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及び報告を行うことを条件とします。

② 1年間（4月1日～3月31日）で完了する研究・活動等とします。

#### (3) 助成の対象にならないもの

① 営利目的又は営利につながる可能性の大きいもの

② 他の機関からの委託によるもの

③ 既に終了しているもの

④ 自己の財源によって十分に研究活動ができるものは、当該申請は無効とし、以降の申請は受け付けられません

#### (4) 応募期間 令和7年5月7日（水）～令和7年6月6日（金）

※選考委員会後に応募を希望される場合には、連絡をお願いします。

#### (5) 助成金額 大会規模に応じて、3万円～5万円程度の助成を行います。

#### (6) 助成対象外とする費用

① 応募する申請者本人の人件費及び謝金（共同者も含む。）

② 汎用性のある機器等の購入費

③ 組織等の一般管理費（例：懇親会等の飲食費）等

④ 海外旅費（ただし、国内旅費は申請額の30%までとします。）

⑤ その他研究に直接関係がない講習会費、物品等

#### (7) スケジュール

令和7年6月下旬 教育振興事業選考委員会で選考を行います。

7月上旬 採否の結果と助成金交付時期（8月下旬予定）を文書にて通知します。

11月中旬 会報「教弘とやま」に助成一覧を掲載します。

### 3. 申請について（申請書はWEBの申請フォームから自動作成となります）2、3頁参照

(1) 「計画資料」を添えて申請してください。

(2) 申請フォームに必要事項を入力し、送信してください。

(3) 適正に取得した個人情報等を当会の教育振興事業の運営のために利用します。

### 4. 選考について

#### (1) 選考方法

日教弘富山支部教育振興事業選考委員会の選考後、富山支部幹事会の議を

経て支部長が対象者を決定します。

(2) 選考基準

事業の公益性・社会性・適正性・必要性・実現性の基準により選考します。

**5. 報告について(報告書はWEBの報告フォームから自動作成となります) 2、3頁参照**

(1) 大会の終了後に経過・結果等に関する報告を提出してください。

(2) 助成金は申請通りに使うこととし、領収書のコピーを必ず添付してください。

尚、領収書は助成額以上となるようお願いします。(59頁参照)

(3) 報告フォームに必要事項を入力し、送信してください。また、成果資料(「研究大会のまとめ」等)があればフォームに添付してください。なお、成果資料等は支部が公表できるものとします。

**6. 報告の提出日** 大会終了後2か月以内に報告フォームから提出してください。

**7. その他注意事項**

(1) 申請書及び成果報告書の記載内容については、担当者は、代表者(学校長等)に承認をもらった後に送信してください。

(2) 提出された書類等は返却しません。

(3) 書類管理の都合上、当支部への持参はお断りします。

(4) 万一、故意の虚偽記載、同一テーマによる重複申請、又は研究倫理上の問題等が認められた場合は、当該申請は無効とし、以降の申請は受け付けられません。

**8. 問い合わせ先**

〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内  
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部  
TEL: 076-464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 氏

所在地

団体名

Tel ( ) ー

代表者

職 名

氏 名

## 教育研究大会助成申請書

下記のように研究大会を開催するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙「計画資料」を添えて申請いたします。

## 記

1. 大会名

2. 開催期日

3. 主催者名

4. 後援者名

5. 参加者数 ( ) 名 主催スタッフ ( ) 名

6. 大会費用

7. 主な内訳

※飲食費等は助成の対象になりません。記入例参照

8. 計画資料（別紙）

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 〒 936-△△△△

所在地 滑川市〇〇町△-△

団体名 〇〇教育〇〇協議会(〇〇小学校内)

※諸団体で学校に事務局等がある場合は  
学校名も記入してください

Tel ( 076 ) △△△ - △△△△

代表者

職 名 会長

氏 名 朝日 一郎

※団体名の代表職名を記入(例：会長、実行委員長等)

※団体名が学校の場合は、校長としてください。

## 教育研究大会助成申請書

下記のように研究大会を開催するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙「計画資料」を添えて申請いたします。

## 記

1. 大会名 第△△回〇〇教育〇〇研究大会

2. 開催期日 △△年△月△日(木)～△日(金)

3. 主催者名 〇〇教育〇〇協議会

4. 後援者名 〇〇〇〇会

5. 参加者数 ( △△△ ) 名 主催スタッフ ( △△ ) 名

6. 大会費用 △△△円 ※前年度実施の場合、参加者数がわかる資料等を添付してください。

7. 主な内訳 会議費 〇〇〇円

※飲食費等は助成の対象になりません。

## 助成の対象にならないもの

- 1 営利目的又は営利につながる可能性の大きいもの
- 2 他の機関からの委託によるもの
- 3 既に終了しているもの
- 4 自己の財源によりできるもの

## 助成対象外とする費用

- 1 申請者本人の人件費等
- 2 汎用性のある機器等の購入費
- 3 懇親会等の飲食費
- 4 直接関係がない物品等

8. 計画資料(別紙)

※「大会案内」も添えてください。申請時に「大会案内」が出来上がっていない場合は、作成後に提出してください。

## 教育研究大会助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地

団体名

代表者 職 名

氏 名

連絡先(TEL)

下記のとおり領収書を添えて報告します。

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 大 会 名              |       |
| 大会開催日              |       |
| 助 成 金 額            |       |
| 研究実践の<br>概 要       |       |
| 助 成 金 の<br>使 途 明 細 | (計 円) |

## 教育研究大会助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 滑川市〇〇町△-△

団体名 〇〇教育〇〇協議会(△△小学校内)

代表者 職 名 会長

氏 名 朝日 一郎

連絡先(TEL) 〇 7 6 - 〇 〇 〇 - 〇 〇 〇 〇

下記のとおり領収書を添えて報告します。

|                    |                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大 会 名              | 第△△回〇〇教育〇〇研究大会                                                                                                                                                                                             |
| 大会開催日              | △年△月△日(木)～△日(金)                                                                                                                                                                                            |
| 助 成 金 額            | △△△円                                                                                                                                                                                                       |
| 研究実践の概要            | <p>1. △月△日(木)</p> <p>・ 講演Ⅰ 「 演 題 」</p> <p>・ 講師：〇〇 〇〇先生(〇〇大学教授)</p> <p>・ 協議内容</p> <p>2. △月△日(金)</p> <p>・ 選択講座Ⅰ 「 講座名 」</p> <p>・ 選択講座Ⅱ 「 講座名 」</p> <p>・ 講師：〇〇 〇〇先生(〇〇大学教授)、〇〇 〇〇先生(〇〇大学教授)</p> <p>3. まとめ</p> |
| 助 成 金 の<br>使 途 明 細 | <p>・ 講師謝金 △△△円</p> <p>・ 会場使用料 △△△円</p> <p>(計 △△△ 円)</p>                                                                                                                                                    |

WEB報告のお願い：報告書および添付書類はPDF形式にて報告フォームより送信してください。

〈添付書類〉 ・ 領収書（コピー）A4用紙に貼付してください。（59頁参照）

・ 成果資料「研究大会のまとめ」等

## 令和7年度 教育実践研究論文募集要項

研究テーマをもって経営上の工夫・改善に取り組んでいる学校や個人（学年、教科、部会等のグループを含む）に対し教育実践の優れた結果の報告の場として、実践研究論文の募集を行う事業です。

### 応募概要

#### 1. 応募の趣旨

学校教育の向上発展に寄与する優れた教育実践研究論文を対象とします。

#### 2. 応募の流れ

教育実践研究論文（学校部門・個人部門）



#### 3. 応募部門

① 学校部門[学校、教育機関等の教育研究団体]

☆ 所属長(校長等)を対象

② 個人部門[学校や教育機関等に勤務する個人(研究グループを含む)]

☆ 所属長以外の教職員を対象

※ 個人部門の申請には所属長の推薦が必要です。

#### 4. 募集の対象にならないもの

- 公的機関、研究会、市販の図書・教育誌等に既に発表した内容のもの。
- 他団体に応募(推薦含む) ずみの内容のもの。
- 本募集に応募後、選考中に発表したもの及び他団体に応募(推薦含む)した内容のもの。

#### 5. 応募方法（WEBでの応募になります）2、3 頁参照

- ① 各校につき、学校部門 1 件、個人部門（研究グループ含む）1 件、合わせて 2 件まで応募できます。
- ② 5 月 7 日(水)から 6 月 6 日(金)(厳守)までに、必要書類「教育実践研究論文募集申請書(応募者用)」と「教育実践研究論文募集申込書」を添付して、WEB 応募してください。

#### 6. 選考について

(1) 選考方法

日教弘富山支部教育振興事業選考委員会の選考後、富山支部幹事会の議を経て支部長が対象者を決定します。

## (2) 選考基準

- ① 現代の教育課題を適切に取り上げているか。
- ② 教育課程上適切に位置付けられ、授業の改善に資するものとなっているか。
- ③ 園児・児童・生徒の主体的な変容・発達の姿が見られるか。
- ④ 理論と実践が一体となった研究であるか。
- ⑤ その研究内容は価値が高く、他の学校でも活用できるか。

## 7. 助 成

学校部門(5万円以内) 個人部門(3万円以内)

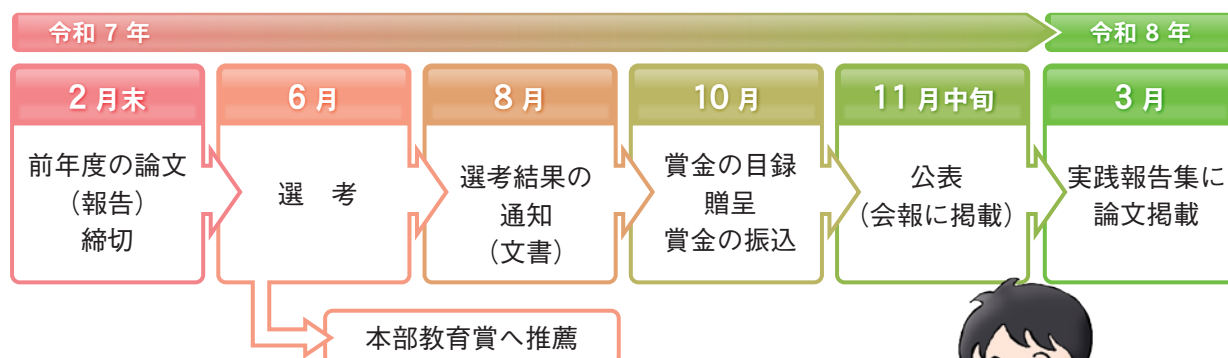
## 8. 報告方法(WE Bでの報告となります) 2、3頁参照

教育振興事業選考委員会で助成を決定します。決定校(者)は、**令和8年2月27日(金)**までに論文(要旨1枚、本文A4・4枚8,000字余り)を提出してください。

※詳しくは30頁参照

- ## 9. その他
- 10月上旬の贈呈式で賞金の目録を渡します。また、優秀な論文は3月発刊の電子ブック『実践報告集』に掲載します。
  - 適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。

## 【実践研究賞】 学校部門と個人部門の区別なく選考



|                   |      |                                           |
|-------------------|------|-------------------------------------------|
| 最優秀賞(20万円) .....  | 1編   | *個人部門の応募論文の中で、最優秀、優秀、優良賞以外で優れている論文を表彰します。 |
| 優秀賞(10万円) .....   | 2編   |                                           |
| 優良賞(5万円) .....    | 2編   |                                           |
| 個人奨励賞(3万円)* ..... | 1～2編 |                                           |

## 問い合わせ先

〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内  
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 TEL:076-464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 氏

所在地

学校名

校長名

連絡先（TEL） （ ） ー

## 教育実践研究論文募集申請書

申請数 学校部門（ ） 編 個人部門（ ） 編

別紙、申込書のとおり研究テーマをもって経営上の工夫・改善に取り組みたく、教育実践研究論文募集に申請いたします。

（添付）申込書（申請数分）

令和 7 年 5 月 25 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 〒 930 -△△△△

所在地 魚津市〇〇町〇丁目〇〇番地

学校名 魚津市立□□□小学校

校長名 新川 花子

連絡先（TEL） （0765）〇〇－〇〇〇〇

## 教育実践研究論文募集申請書

申請数 学校部門（ 1 ） 編 個人部門（ 1 ） 編

別紙、申込書のとおり研究テーマをもって経営上の工夫・改善に取り組みたく、教育実践研究論文募集に申請いたします。

（添付）申込書（申請数分）

フォームに申込書（申請数分）を添付してください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者

所属名

職 名

氏 名

## 教育実践研究論文募集（ 学校部門 ・ 個人部門 ） 申請書

下記のような研究テーマをもって経営上の工夫・改善に取り組みたく、「教育実践研究論文募集  
申込書」を添えて申請します。

記

研究テーマ

|  |
|--|
|  |
|--|

（別紙）申込書添付

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

令和 7 年 5 月 25 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者

所属名 魚津市立〇〇小学校

職 名 教諭（校長）

氏 名 新川 花子

※いずれかを○で囲んでください。

教育実践研究論文募集（ 学校部門 ・ 個人部門 ） 申請書

下記のような研究テーマをもって経営上の工夫・改善に取り組みたく、「教育実践研究論文募集  
申込書」を添えて申請します。

記

研究テーマ

学年のよさを発揮し、共に高め合う学年づくり  
－ 〇〇を通して －

※「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」という立場から応募者が具体的な  
研究テーマを決めて論文をまとめることとします。

（別紙）申込書添付

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

## 教育実践研究論文募集申込書

年 月 日

|                                      |             |                        |
|--------------------------------------|-------------|------------------------|
| <b>申 請 者</b><br><br>(申請部門を○で囲んでください) | <b>学校部門</b> | (団体名)                  |
|                                      |             | (代表者名)                 |
|                                      | <b>個人部門</b> | (所属名)                  |
|                                      |             | (個人名又はグループ名)           |
|                                      |             | ※グループの場合は代表者名 (メンバー 名) |
| <b>研究テーマ</b>                         |             |                        |
| <b>研究テーマ<br/>設定の理由</b>               |             |                        |
| <b>テーマに基づく<br/>研究実践の内容</b>           |             |                        |
| <b>研 究 計 画</b>                       |             |                        |

## 教育実践研究論文募集申込書

年 月 日

|                                    |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>申請者</p> <p>(申請部門を○で囲んでください)</p> | <p>学校部門</p>                                                                                                                                                                                 | <p>(団体名)</p> <p>(代表者名)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>研究テーマ</p>                       | <p>個人部門</p>                                                                                                                                                                                 | <p>(所属名) 砺波市立〇〇中学校</p> <p>(個人名又はグループ名) 上市 二郎</p> <p>※グループの場合は代表者名 (メンバー 名)</p> <p>学年のよさを発揮し、共に高め合う学年づくり</p> <p>— 〇〇を通して — ※「教育実践研究論文募集申請書」の研究テーマと一致させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学校経営等(特色ある学校づくり、教職員の資質向上、地域の教育資源の活用等)</p> <p>【例】「地域に愛着と誇りをもち、主体的に行動する児童の育成」(小学校)</p> <p>「個に応じた支援体制の構築」(中学校)</p> <p>「人間関係力をもとにした確かな学力と進路意識の向上を目指して」(高校)</p> <p>「働く力を高める地域貢献活動の実践」(特別支援学校)</p> </div> <p style="text-align: right;">『日教弘教育賞教育研究集録より』</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>個人(グループ)研究等(学年・学級経営、教材開発、生徒指導、特別支援教育等)</p> <p>【例】「児童の意欲を引き出す体育の授業を考える」(小学校)</p> <p>「いじめを生まない学級づくり」(中学校)</p> <p>「やってみたい」を形にして、生徒の主体的な学びを引き出す指導(高校)</p> <p>「知的障害児と指導者が共に参加できる余暇活動の在り方」(特別支援学校)</p> <p>「アクションカードを使った、教職員救急救命研修」(養護教諭)</p> </div> <p style="text-align: right;">『日教弘教育賞教育研究集録より』</p> |
| <p>研究テーマ<br/>設定の理由</p>             | <p>・学年主任としてリーダーシップを発揮し、可能性を広げようとする……</p>                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>テーマに基づく<br/>研究実践の内容</p>         | <p>・課題を明確にする……</p> <p>・教師の連携……</p> <p>・学年経営の改善……</p> <p>※仮説設定及び本研究で取り組もうとしていること。</p>                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>研究計画</p>                        | <p>※募集の対象にならないもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公的機関、研究会、市販の図書・教育誌等に既に発表した内容のもの。</li> <li>・他団体に応募(推薦含む)ずみの内容のもの。</li> <li>・本募集に応募後、選考中に発表したもの及び他団体に応募(推薦含む)した内容のもの。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 氏

所在地

学校名

校長名

連絡先（TEL） （ ） ー

## 教育実践研究論文募集報告書

報告数 学校部門（ ）編 個人部門（ ）編

別紙、研究テーマをもって取り組みました経営上の工夫・改善についての教育実践研究論文を提出いたします。

（添付）教育実践研究論文 要旨 1 枚、本文 A 4 ・ 4 枚

令和 8 年 2 月 15 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 〒 930 -△△△△

所在地 魚津市〇〇町〇丁目〇〇番地

学校名 魚津市立□□□小学校

校長名 新川 花子

連絡先（TEL） （0765）〇〇－〇〇〇〇

## 教育実践研究論文募集報告書

報告数 学校部門（ 1 ）編 個人部門（ 1 ）編

別紙、研究テーマをもって取り組みました経営上の工夫・改善についての教育実践研究論文を提出いたします。

（添付）教育実践研究論文 要旨 1 枚、本文 A 4 ・ 4 枚

フォームに申込書（申請数分）を添付してください。

## 教育実践研究論文募集(論文)の書き方

### 1. 論文の提出締切日 令和8年2月27日(金)

### 2. 論文の作成について

論文の作成は、原則として一太郎又はワード等を使用してください。

指定の原稿用紙はありません。下記のとおり設定の上、論文等を提出してください。

**ア 要旨**(別紙 **ア** 参照) 本部「日教弘教育賞」様式に準じます。

様式は 48 字×43 行×1 段組×A4 判ページ横書き (フォントサイズ 10.5) とします。

執筆者の氏名・所属学校・役職・研究主題・研究の要旨等をまとめてください。

**イ 本文**(別紙 **イ** 参照) 本部「日教弘教育賞」様式に準じます。

様式は 24 字×43 行×2 段組×A4 判 4 ページ横書き (フォントサイズ10.5) とします。

図表・写真等の資料を掲載する場合はA4判1ページ程度以内の分量に収めてください。

※ **要旨**を必ず添付してください。

### 3. 論文の書き方

(1)論文は横書きとします。

(2)文字は常用漢字、新かなづかいを使用してください。

(3)本文1ページ目の6行分(段組み左右)を用いて下記のとおり印字してください。

※学校名・団体名・グループ名及び役職・氏名の欄には下記のとおりお書きください。

①学校の場合は、学校名及び校長名

②グループの場合は、グループ名及びその代表者役職・氏名

(4)小見出しや文章の書き出しの前は、ひとマスあけてください。

(レイアウト等については『実践報告集』を参考にしてください。)

(5)写真・図表等の留意点

掲載する写真・図表は、『実践報告集』作成時に図表等が見にくくならないようにご配慮下さい。

論文内に貼り付け、またはデジタルカメラで取り込んで完成したものにしてください。

また、審査終了後、電子データにて論文の提出をお願いする場合があります。

### 4. 論文提出後のことについて

優秀論文は電子ブック『実践報告集』にまとめ、支部ホームページに掲載のうえ、助成記録として保存します。

教育実践研究論文募集 ア：要旨 様式例①

[illegible]

※ 48字×43行×1段組 A4判 1ページ  
(フォントサイズ 10.5) で作成してください。

※ 「6. 研究の要旨」は、文字数制限は設けて  
おりません。スペースに収まる範囲で自由にご  
記入ください。

※ こちらは見本のため、文字数・行数を記載  
していますが、実際の要旨には不要です。

[01]

[02]

[03]

[04]

[05]

[06]

※ 線は入れても入れなくても  
どちらでも結構です。

〇〇〇〇〇〇について（研究主題）

— 〇〇中学校の1年間を通して —（副題）

（学校名） 〇〇市立〇〇中学校

（役職・職名） 校長 日 教 弘

[07]

（1行余白）

[08] （以下、**1行24字（全角の場合）**で本文を記入）

[09]

[10]

[11]

[12]

[13]

[14]

[15] あああああああああああああああああああ

[16] あああああああああああああああああああ

[17] ※ 写真・図表等の資料を入れる場合は、このよ  
うに論文の中に挿入してください。

[18] なお、論文量は本文と写真・図表等の資料を  
含めて4枚に収めてください。

[19]

[20] あああああああああああああああああああ

[21] あああああああああああああああああああ

[22]

[23]

[24]

[25]

[26]

[27]

[28]

[29]

[30]

[31]

[32]

[33]

[34]

[35]

[36]

[37]

[38]

[39]

[40]

[41]

[42]

[43] ←←←←←←←←←← 24字 →→→→→→→→→→

[08]

[09]

[10]

[11]

[12]

[13]

[14]

[15]

[16]

[17]

[18]

[19]

[20]

[21]

[22]

[23]

[24]

[25]

[26]

[27]

[28]

[29]

[30]

[31]

[32]

[33]

[34]

[35]

[36]

[37]

[38]

[39]

[40]

[41]

[42]

[43] ←←←←←←←←←← 24字 →→→→→→→→→→

※ これは、「学校」で応募した場合の記入例です。  
個人またはグループで応募する場合は、下記の内容  
を記入してください。

- 個人 … 所属学校名・役職・氏名
- グループ … グループ名・代表者役職・氏名

※ 24字×43行×2段組 A4判 4ページ  
（フォントサイズ10.5 数字アルファベットは  
半角）で作成してください。

※ こちらは見本のため、文字数・行数を記  
載していますが、実際の論文には不要です。

## 1. 所属校

富山県氷見市立北部中学校

## 2. 役職

校長

## 3. 氏名

櫻打 佳浩

## 4. 研究主題

多様性を認め合い、安心して自己表現できる校風の醸成

## 5. 研究副題

人権教育と対話を軸とした学びの実践を通して

## 6. 研究の要旨

中教審答申「令和の日本型教育の構築を目指して」で示された協働的に議論する力や、チームとして学びを高めていく力を育むためには、対話的な学びの実践と自信をもって自分の意見を発言できる風土の醸成が重要と考えた。本稿は、多様性を認め合う人権教育と対話を軸とした学びを研究の柱として、下記の3つの視点から学校経営改善を行い、安心して自己表現できる校風の醸成に取り組んできた足跡である。

### ○視点及び取組の概要

#### 視点1 人権や多様な生き方について考える

- (1) 人権作文や意見発表大会等の活用
- (2) 社会を明るくする運動への参加
- (3) 多様な生き方について考える講演会の開催

#### 視点2 性の多様性やジェンダーについて考える

- (1) 性の多様性について考える場の設定
- (2) P T Aと連携したアンケートの実施
- (3) ジェンダーレスタイプの制服の導入（第3の選択肢としての制服導入）

#### 視点3 対話を軸とした学びを確立する

- (1) 授業における実践
- (2) 学校評価による検証

### ○成果と課題

#### (1) 成果

- ・性の多様性を含む一人一人の個性や違いについて考える活動を実践したことにより、自分とは違う他者を排除するのではなく、違いを認め、互いを尊重していくことが大切だと考えて行動する姿が多く見られるようになった。
- ・「人権や多様な生き方について考える場」「考えの深まりを実感できる対話的な学びの場」を継続してきたことにより、自分の考えを意見発表会や各学習活動において自信をもって発表するなど、堂々と自己表現できる生徒が増えてきた。

#### (2) 課題

- ・共感的な人間関係を育むなど、生徒指導の機能を生かした取組の継続が重要である。また、学びを深める対話的な学習の在り方について、さらに研修を推進していく必要がある。

# 多様性を認め合い、安心して自己表現できる校風の醸成

～人権教育と対話を軸とした学びの実践を通して～

氷見市立北部中学校  
校長 櫻打 佳浩

## 1 はじめに

中央教育審議会答申「令和の日本型教育の構築を目指して」（2021.1）では、予測困難な時代に立ち向かう力として、課題を見だし、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論して納得解を生み出すこと等、新学習指導要領で育成を目指している資質・能力の必要性が改めて示された。また、一人一人の多様性と向き合いながら、一つのチームとして学びを高めていく従来の日本型教育がもつ強みを生かすこと等についても明示された。

協働的に議論し納得解を生み出すためには、他者との対話を積極的に行い、考えの違いを受け止め、合意形成を図っていく力が必要である。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大により、対話の機会が奪われてきたことから、今改めて他者と対話する力、議論する力を培っていくことが必要と考える。また、チームとして学びを高めていくためには、生徒指導提要（2022.12）に加えられた生徒指導の機能「安全・安心な風土の醸成」を推進するなど、一人一人の違いや多様性を認め合い、自信をもって自分の意見を発言できる学級や学校を運営することが重要と考える。

本稿は、多様性を認め合う人権教育と対話を軸とした学びを研究の柱として、安心して自己表現できる校風の醸成に取り組んできた2年間の足跡である。

## 2 研究の視点

### 視点1 人権や多様な生き方について考える

近藤・尾崎（2017）<sup>1)</sup>は、発達心理学の観点から、中学生にあたる青年期前期は対人的意味付けレベルにあり、異なった他者の意見や基準に対して非常に敏感になる時期としている。また、青年期中期では他者が自分をどう思っているかが最大の関心事となり、常に他者の視線を気にして行動してしまうとある。このことから、中学生は自分の本音や考えを周囲に合わせて抑えるため、自己表現を控える傾向があると考えられる。

そこで、人権や多様な生き方について考える活動を通して、他者との違いを認め、一人一人の人権を大切にしていくことで、「人と違っていてもいいんだ」

という感情を育み、生徒の自己開示や自己表現への不安を軽減したいと考えた。

### 視点2 性の多様性やジェンダーについて考える

性的指向や性自認、表現の性の違い等、性の多様性に関する問題は、今日的な問題であるにも関わらず、多くの学校ではタブー視され、積極的に取り組んでこなかった実態がある。しかしながら、性自認の悩みから学校の制服を受け入れられず、不登校になった生徒や希死念慮に陥った生徒がいることへの対策について、富山県議会（2020年11月予算特別委員会他）においても議論されてきたところである。

そこで、性の多様性やジェンダーも人権として捉えて考えるとともに、ジェンダーレスタイプの制服を導入することで、性自認等、性の多様性で悩む生徒の心をケアしていきたいと考えた。

### 視点3 対話を軸とした学びを確立する

学習指導要領の改訂により「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が行われてきた。学校では、コロナ禍の新しい生活様式に対応しつつ、マスク着用やICT機器の活用により対話的な学びを実践してきたが、十分な取組が行われてきたとはいえない状況であった。

そこで、安心して自己表現できる学校風土を醸成しながら、今一度、授業等における対話的な活動を意図的に設定し、多様な考えの者が協働的に議論して納得解を生み出す力等を身に付けさせたいと考えた。

## 3 取組の概要

『幼・小・中学校教育指導の重点』（富山県教育委員会）の人権意識チェック表を職員会で提示して教職員の人権意識を高めるとともに、以下の取組を行った。

### 視点1 人権や多様な生き方について考える

#### (1) 人権作文や意見発表大会等の活用

道徳科や国語科等の学習において、いじめや差別、障害者との関係等、人権について考える学習を行うとともに、学校行事等で自分の考えを表現する活動に取り組んだ結果、以下のように、自分の考えを臆することなく発表できる生徒が増えてきた。

・県中学生生活体験発表大会において、障害をもつ家族のことを隠してきた生徒が、友達の言葉をきっかけに家族のことを隠さず話せるようになったことや、障害を含めた一人一人の違いを尊重することの大切さについて訴えた。

・「氷見第九合唱団」に参加している生徒が、県中文祭意見発表において、自分にとっての歌は先生であり、大切なパートナーでもあること等について、第九のソプラノの歌唱も交えて堂々と発表した。



## (2) 社会を明るくする運動への参加

2学年の生徒が氷見保護司会主催の「社会を明るくする運動『公開ケース研究会』」に参加し、犯罪事案の背景等を考えながら、どうすれば犯罪を減らしていくことができるかなどについて考える学習を行った。

先輩に誘われ、ひったくりを犯してしまった少年の事案を基に「保護観察がよいか、少年院送致がよいか」について、まずは自分で考え、各意見を元にグループでどのような措置がよいかを話し合った。生徒は、罪を犯してもその人の人権を尊重し、犯罪は認めないが、人は認めていくという姿勢が大切であると考えていた。

## (3) 多様な生き方について考える講演会の開催

キャリア教育の一環として、多様な生き方を知り、自分の生き方について考える場となるよう、氷見市出身で県外及び海外で活躍されてきた(株)INTECの宮下毅氏の講演会と、地域おこし協力隊として氷見に移住し活動されている吉田サラダ氏の講演会を開催した。

宮下氏は、実社会は正解のない場合が多く、自分で考え、自分の意思で判断し行動することが必要であること等について講演された。生徒は、これまでの自分の考え方の甘さを振り返り、今後の行動や生き方について深く考えていた。

〈生徒の感想〉社会に出てから「何とかなるだろう」という考えでは、何もできないことが分かった。何事にも大きな夢をもって挑戦することが大事だということも。できないことを一つずつでもやってみることが今の私には必要だと感じた。

吉田サラダ氏は、「笑いで地域おこし！～氷見の魅力を発信～」という演題で講演され、常識



から非常識にずらすことで笑いが生まれることや、視点をずらすことで新しい魅力がみえてくること等について、ユーモアを交えて話をされた。

生徒は、視点をずらして地元の魅力を見付けること、考え方をずらして毎日の生活を楽しくすること等、講演会の学びから多くのことを考えていた。

〈生徒の感想〉普段当たり前だと思っていることでも、視点をずらすことで、新しい発見や魅力が再確認できると思った。これから「ずらし」を活用するために、まず学校生活で常識を身に付け、楽しむ努力をして、新しい発見をしていきたい。

## 視点2 性の多様性やジェンダーについて考える

### (1) 性の多様性について考える場の設定

性(ジェンダー)を乗り越え(トランス)てきた西原さつきさんを講師に「自分らしく生きていく」という演題で、LGBTQ等の



性の多様性について学ぶ講演会を校区小学校や保護者にも聴講を呼びかけて開催した。

性的指向(LGB)と性自認(T)の違いや、表現の性にも違いがあること等を学び、一人一人が多様な社会の一員であることや、自分らしく生きていくことの大切さについて真剣に考える機会となった。また、性の多様性を含め、自分とは違う他者を排除するのではなく、違いを認め合い、共に生きていく姿勢が大切だと考える生徒が多くみられた。

### 〈生徒の感想〉

- ・LGBTQの人が思っているより多くて驚いた。その人たちを認め、尊重することが大切だと思った。性の多様性も含めて、その人の個性として、人の多様な生き方につなげていくことが大切だと思った。
- ・私は性別や年齢等、見た目だけでできることが少なくなる「不平等」がとても嫌いだ。自分のことを隠さず話された西原さんはとても素敵だと思った。
- ・LGBTQだけでなく、全ての人が自分らしい生き方をするためには、悩んでいる人を受け止める人が必要だと思った。

### (2) PTAと連携したアンケートの実施

SDGs(持続可能な開発目標)にも掲げられているジェンダー平等について、生徒や保護者が感じていることを明らかにしたいと考え、PTAが発行する広報紙の特集として、「ジェンダーに関するアンケート」を実施し、生徒と保護者の意見を集約し考察した。

「『男だから、女だから、〇〇しなさい』と言われたことがあるか」の問いでは、保護者の世代では、約半数が「～らしく」と言われて育ってきている

が、生徒ではその割合が減っていることから、ジェンダー平等の考えが広がってきていると思われる。

一方で、「男女平等になっていると思うか」の問いに対しては、生徒は学校や家庭において男女平等と感じている割合が高いが、保護者は職場や家庭において男性が優遇されているとの回答が多くみられ（図1）、ジェンダー平等とはいえない状況であることが伺える。

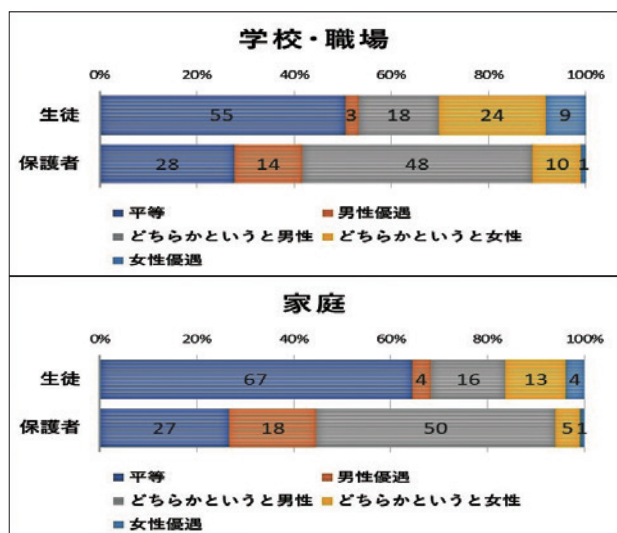


図1 男女平等になっていると思うか

「ジェンダーによる差別をなくすためには、どんなことが必要だと思うか」の問いに対して、生徒では「偏見をもたないこと、押しつけないこと」「見た目で判断しないこと」「制服を例にすると、一択ではなく選択肢を増やすこと」等の意見があり、保護者では「ジェンダーに対する教育が大切」「男女問わず協力し合うこと」「相手を否定せず、お互いの違いを認め、理解し合うこと」等の意見があった。

本アンケートの実施により、家庭においてジェンダー平等について話し合うきっかけにつながった。

### (3) ジェンダーレスタイプの制服の導入

今後入学してくる生徒の中に性自認等の悩みをもっている生徒が存在すると想定し、学校の制服に対する違和感や悩みを取り除きたいと考え、ジェンダーレスタイプの制服導入に取り組んだ。（表1）

既存の学生服やセーラー服から全てジェンダーレスのブレザー型に移行するのではなく、第3の選択肢としてブレザー型を導入することとした。

令和5年度入学式では、新入生女子生徒の約8割、男子生徒の約半数がブレザー型の制服を着用していた。また、ブレザー型でスラックスを選択し、入学式に参加した女子生徒も多数みられた。

1学期末に実施したアンケート「第3の制服導入はよかったと思うか」については、1年生の87%が

肯定的な回答を示していた（図2）。また、2、3年生を含めた全校生徒においても約70%の生徒が肯定的な回答であった。

| 表1 : ブレザー型制服の導入手順     | 年月      |
|-----------------------|---------|
| ①先進校（坂祝中学校等）の情報収集     | R 4年 4月 |
| ②市教委、市中学校長会に説明        |         |
| ③教職員、生徒会役員へ説明         |         |
| ④北部中学校PTA役員へ説明        | R 4年 5月 |
| ⑤業者との協議（サンプル、値段等）     |         |
| ⑥LGBTQ講演会の開催          |         |
| ⑦校区小学校保護者へ案内          | R 4年 7月 |
| ⑧制服検討委員会設置            |         |
| ⑨制服業者選考会 業者決定         |         |
| ⑩制服デザイン検討、制服決定        | R 4年 9月 |
| ⑪PTA広報委員会アンケート「ジェンダー」 | R 4年10月 |
| ⑫校区小売店への説明（業者）        |         |
| ⑬入学説明会における保護者への説明     | R 4年12月 |
| ○ブレザー型制服混在の入学式        | R 5年 4月 |



ブレザー型の制服

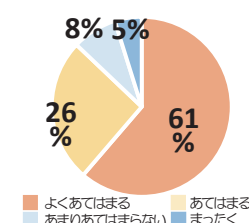


図2 第3の制服導入はよかったと思うか(1年)

### 視点3 対話を軸とした学びを確立する

#### (1) 授業における実践

社会科における開国の是非を考える学習や、理科における実験結果を予想する活動等、全教科において対話の場を意図的に設定し、主体的・対話的で深い学びの視点から授業を実践した。自分の考えの発表で終わるのではなく、考えの理由や根拠を明確にして話し合いを行い、グループで合意形成を図ったり、自分の考えを再構築したりする活動となるよう工夫した。

#### 〈実践例①：3年国語科「合意形成に向けた話し合い」〉

課題に対する合意形成を図るために、グループのメンバー全員が参加し、目的や条件に照らして話し合い活動を行うことをねらいとした実践を行った。

モデルとなるグループの話し合いを提示することで、よい話し合いに向けて見通しをもたせるとともに、話し合いを促進するための話型のカードを用いて、様々な視点からの意見が出やすくなる工夫を行った。また、観察グループを設定して、互いの話し合いを評価することとした。評価の場面では、合意形成を目指した活発な話し合い活動を目



話し合いを評価することとした。評価の場面では、合意形成を目指した活発な話し合い活動を目

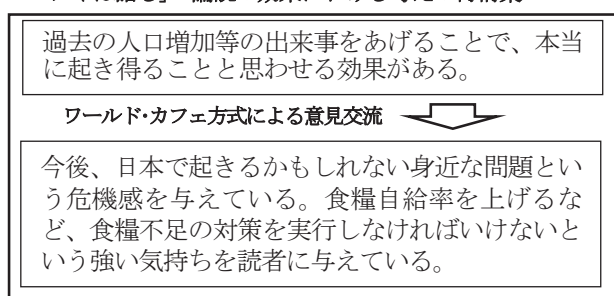
指して、個々の意見のよさやグループの課題を的確に指摘し合う姿が見られた。一方、グループ全員の意見を尊重するあまり、全ての意見を取り入れてしまうグループがあり、合意形成を図っていくことの難しさも感じ取っていた。

#### 〈実践例②：2年国語科「モアイは語る」〉

筆者の論理の展開について考える学習において、自分で考えた内容をグループ内で共有し、さらにワールド・カフェ方式による意見交流を通して、自分の考えを再構築する活動を行った。

意見交流を経て考えを再構築することで、分かったつもりになっている生徒が、もう一度深く考え直すことができた。

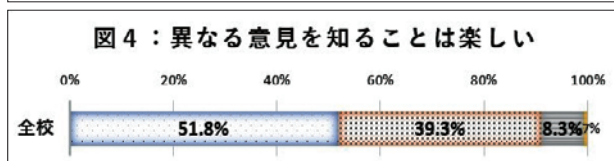
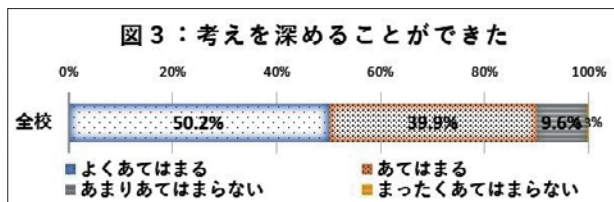
#### 「モアイは語る」 論説の効果における考えの再構築



自分の考えをもって意見交流に参加することで、主体的に話し合うことができるとともに、他の意見を聞くことで自分の意見が言語化されるなど、主体的・対話的で深い学びにつなげることができた。

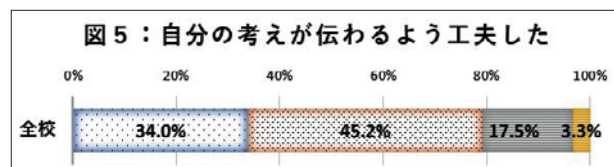
#### (2) 学校評価による検証

各教科の授業や生徒会活動を通して、対話を軸とした学びを実践してきたことにより、令和5年度2学期末に実施したアンケートでは、「対話する活動を通じて自分の考えを深めることができた」や「自分の考えと異なる意見を知ることは楽しい」において、全校生徒の約90%が肯定的な回答を示した。(図3、4)



一方で、「自分の考えが伝わるように工夫した」では、肯定的回答が約80%に止まり、考えを伝え切れていないと感じている生徒が約2割いたことが分かった(図5)。単に話し合いを楽しむだけでなく、

自分の考えを確実に伝え、意見交換の中で考えを再構築したり、合意形成を図ったりする協働的な学びとなる工夫が必要と考える。



## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ・性の多様性を含む一人一人の個性や違いについて考える活動を実践したことにより、自分とは違う他者を排除するのではなく、違いを認め、互いを尊重していくことが大切だと考えて行動する姿が多く見られるようになった。
- ・「人権や多様な生き方について考える場」「考えの深まりを実感できる対話的な学びの場」を継続してきたことにより、自分の考えを意見発表会や各学習活動において自信をもって発表するなど、堂々と自己表現できる生徒が増えてきた。

### (2) 課題

- ・安心して自己表現するためには、表現の土台としての環境づくりが重要である2)。学年や学級において共感的な人間関係を育むなど、生徒指導の機能を生かした取組の継続が重要である。また、学びを深める対話的な学習の在り方について、さらに研修を推進していく必要がある。

## 5 おわりに

例年の1年生では夏期休業明け等に登校渋りがみられるが、今年度は、その時期の登校渋りがみられなかった。また、小学校の時にほとんど登校できなかった生徒が、登校して授業を受けている。このことの明確な根拠はないが、選択制の制服導入等により、違いがあっても当たり前という学校の雰囲気があることも、要因の一つではないかと考えている。

本校には、能登半島地震によって自宅が被害に遭い、転居を余儀なくされるなど、心に傷を受けた生徒が少なからずいる。そのような生徒の心に寄り添いながら、今後も一人一人の違いを排除することなく、認め合う関係を大切にすることで、生徒が安心して自己表現できる学校づくりに努めていきたい。

#### 〈参考文献〉

- 1) 近藤清美・尾崎康子(2017) 社会・情動発達とその支援 ミネルヴァ書房
- 2) 深澤暢子(2022)「安心して自己表現できる学級を目指した実践の在り方」山梨大学教職大学院 教育実践研究

## 令和7年度 課題研究報告募集要項

今日的課題を掲げて研究実践に取り組む若手教職員に対して助成を行う事業です。

主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部

### 応募概要

#### 1. 応募の流れ



#### 2. 募集要件

##### (1) 応募の趣旨

- ・今日的な課題を掲げて取り組む教育実践報告を対象とした助成を通して学校教育の向上発展に寄与します。
- ・1名の申請につき5千円以内の助成をします。

##### (2) 応募対象

国・公・私立の幼・小・中・高・特別支援・高専等の各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する30歳以下の教職員とします。尚31歳以上の新規採用教職員は、3年次まで対象とします。

##### (3) 募集の対象にならないもの

- ・公的機関、研究会、市販の図書・教育誌等に既に発表した内容のもの。
- ・他団体に応募(推薦含む)ずみの内容のもの。
- ・本募集に応募後、選考中に発表したもの及び他団体に応募(推薦含む)した内容のもの。

##### (4) 応募期間 令和7年5月7日(水)～令和7年6月6日(金)

所定の様式 40頁(学校用)、42頁(応募者用)、44頁(学校票)参照

##### (5) 報告書提出 **令和7年11月28日(金)**

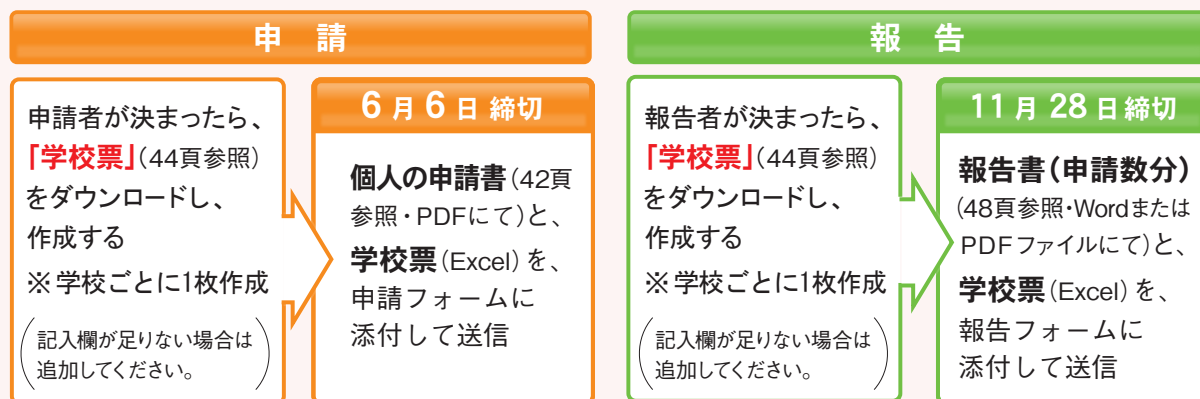
所定の様式 44、46、48頁参照

##### (6) その他

- ・会報「教弘とやま」と「実践報告集」に助成者名を掲載いたします。また、優秀賞の報告書10編も「実践報告集」に掲載します。
- ・適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。

### 3. 申請・報告方法

下記にしたがって各学校から申請・報告してください。



### 4. 審査

教育振興事業選考委員により審査します。

選考委員…学識経験者、富山県教育委員会並びに小・中学校、高校の  
各校長会に選考委員を依頼します。

### 5. 選考について

#### (1) 選考方法

日教弘富山支部教育振興事業選考委員会の選考後、富山支部幹事会の議を経て  
支部長が対象者を決定します。

#### (2) 選考基準

- ① 現代の教育課題を適切に取り上げているか。
- ② 教育課程上適切に位置付けられ、授業の改善に資するものとなっているか。
- ③ 園児・児童・生徒の主体的な変容・発達の姿が見られるか。
- ④ 理論と実践が一体となった研究であるか。
- ⑤ その研究内容は価値が高く、他の学校でも活用できるか。

【教育賞】 前年度に提出された報告書が対象となります。

優秀賞 3万円(10件) 優良賞 1万円(10件程度)



### 問い合わせ先

〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内  
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 TEL:076-464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 氏

所在地

学校名

校長名

連絡先（TEL） （ ） ー

## 課題研究報告募集申請書

申請者 （ ） 名

別紙、学校票のとおり研究実践に取り組みたく、課題研究報告募集に申請いたします。

（添付）学校票、応募者申請書（申請人数分）

令和 7 年 5 月 25 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 〒 933 -△△△△

所在地 砺波市〇〇町〇丁目〇〇番地

学校名 砺波市立□□□小学校

校長名 庄川 一郎

連絡先（TEL） （0763）〇〇－〇〇〇〇

## 課題研究報告募集申請書

申請者 （ 3 ） 名

別紙、学校票のとおり研究実践に取り組みたく、課題研究報告募集に申請いたします。

（添付）学校票、応募者申請書（申請人数分）

フォームに学校票、応募者申請書（申請人数分）を添付してください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者

所属名

職 名 （ ）

第 （ ） 学年

氏 名

（ 歳）  
（ 年次）

## 課題研究報告募集申請書

下記の課題をもって研究実践に取り組みたく、課題研究報告募集に申請いたします。

記

### 1. 研究課題

### 2. 研究（活動）の概要

### 3. 助成金の主な使途

#### 〔申請にあたっての注意事項〕

- ・提出された報告書については返却しません。

#### 〔個人情報の取扱いについて〕

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者

所属名 富山県立〇〇高等学校

職 名 （ 教 諭 ）

第（ 2 ）学年

氏 名 立 山 香

（ 28 歳）  
（ 2 年次）

※31歳以上の新規採用教職員で、3年次までの方は記入してください。→

## 課題研究報告募集申請書

下記の課題をもって研究実践に取り組みたく、課題研究報告募集に申請いたします。

記

## 1. 研究課題

生徒一人一人のよさを引き出す授業の工夫

2. 研究（活動）の概要 ← ※ 1.「研究課題」、2.「研究（活動）の概要」は、  
できるだけ簡潔に記入してください。

## 3. 助成金の主な使途

研究のための書籍購入、研究のための教材購入

※必ず記入してください。

## 〔申請にあたっての注意事項〕

- ・提出された報告書については返却しません。

## 〔個人情報の取扱いについて〕

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

[記入者] 職名・氏名

課題研究助成申請書・報告書(学校票)

| 番号 | 学校コード | 所 属 名 | 職 名 | 氏 名 | 研 究 課 題 |
|----|-------|-------|-----|-----|---------|
| 1  | -     |       |     |     |         |
| 2  | -     |       |     |     |         |
| 3  | -     |       |     |     |         |
| 4  | -     |       |     |     |         |
| 5  | -     |       |     |     |         |
| 6  | -     |       |     |     |         |
| 7  | -     |       |     |     |         |
| 8  | -     |       |     |     |         |
| 9  | -     |       |     |     |         |
| 10 | -     |       |     |     |         |

『学校票』は、年2回提出(HPからダウンロードしたExcelシートに入力したデータ)願います。

- 1回目「課題研究募集申請書」の提出時
- 2回目「課題研究募集報告書」の提出時 ※研究課題等に変更があれば修正をしてください。

【提出方法】 1回目、2回目ともに、ホームページのWEB申請・報告フォームに添付して提出してください。

※シートのタイトルは『〇〇市・△△中・課題研□名』

課題研究助成申請書・報告書（学校票）

年 月 日

[記入者] 職名・氏名 高岡 花子

記入例－課題研究報告募集（学校票）

| 番号 | 学校コード    | 所 属 名      | 職 名  | 氏 名   | 研 究 課 題                                   |
|----|----------|------------|------|-------|-------------------------------------------|
| 1  | 1234-567 | 砺波市立□□□小学校 | 教諭   | 立山 太郎 | 主体的に学ぶ子                                   |
| 2  | 1234-567 | 砺波市立□□□小学校 | 教諭   | 〇〇〇〇〇 | 児童一人一人を生かす                                |
| 3  | 1234-567 | 砺波市立□□□小学校 | 養護教諭 | 〇〇〇   | 児童が健康に関心を                                 |
| 4  | -        |            |      |       | ※連絡をとる場合が<br>ありますので記入を<br>お願いします。         |
| 5  | -        |            |      |       |                                           |
| 6  | -        |            |      |       | ※申請時は、できるだけ広いテーマで提出する<br>と取り組みやすいと思われれます。 |
| 7  | -        |            |      |       | ※申請時と研究課題の内容を変更した場合、<br>報告時に修正してください。     |
| 8  | -        |            |      |       |                                           |
| 9  | -        |            |      |       |                                           |
| 10 | -        |            |      |       |                                           |

※申請フォームに入力  
する7桁の学校コード  
を記入してください。

※申請時と報告時の  
番号順を変えないで  
ください。

『学校票』は、年2回提出（HPからダウンロードした Excel シートに入力したデータ）願います。

- 1回目「課題研究募集申請書」の提出時
  - 2回目「課題研究募集報告書」の提出時
- ※研究課題等に変更があれば修正をしてください。

【提出方法】 1回目、2回目ともに、ホームページのWEB申請・報告フォームに添付して提出してください。  
※シートのタイトルは『〇〇市・△△中・課題研□名』

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 氏

所在地

学校名

校長名

連絡先(TEL) ( ) ー

## 課題研究報告募集報告書

報告者 ( ) 名

別紙、学校票のとおり取り組みました課題研究について、課題研究報告書を提出いたします。

(添付) 学校票、報告書(報告人数分)

令和 7 年 11 月 25 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 〒 933 -△△△△

所在地 砺波市〇〇町〇丁目〇〇番地

学校名 砺波市立□□□小学校

校長名 庄川 一郎

連絡先 (TEL) (0763) 〇〇 - 〇〇〇〇

## 課題研究報告募集報告書

報告者 ( 3 ) 名

別紙、学校票のとおり取り組みました課題研究について、課題研究報告書を提出いたします。

(添付) 学校票、報告書 (報告人数分)

フォームに学校票、報告書 (報告人数分) を添付してください。

## 課題研究報告募集報告書

(研究課題)

### 1 課題設定の理由

### 2 研究実践

### 3 研究の成果

### 4 今後の課題

課題研究報告募集報告書

A4 判 1 枚（余白は上 20mm, 下 25mm, 左右 20mm）

44 字（MS 明朝 10.5P）

（研究課題）（MS ゴシック 14 P）枠で囲む

学校名・学年・職・氏名（MS 明朝 10.5P）

3  
行

1 課題設定の理由（MS ゴシック 10.5P）

（本文は MS 明朝 10.5P 数字は半角 アルファベットは半角[A]）

・実態等

↓ 空けない

2 研究実践（MS ゴシック 10.5P）

（本文は MS 明朝 10.5P 数字は半角 アルファベットは半角[A]）

37  
行

\*図表・写真等を掲載する場合もこの 1 枚に収める。

\*文字数、行数の多少の増減は可。

↓ 空けない

3 研究の成果（MS ゴシック 10.5P）

（本文は MS 明朝 10.5P 数字は半角 アルファベットは半角[A]）

・解明されたこと

↓ 空けない

4 今後の課題（MS ゴシック 10.5P）

（本文は MS 明朝 10.5P 数字は半角 アルファベットは半角[A]）

・残された問題点

WEB 報告のお願い

報告書は Word 形式または PDF ファイルで、  
学校票と一緒に学校ごとにフォームより送信  
してください。

## 自己表現力を高め、安心して過ごせる学級集団の育成

高岡市立野村小学校 第1学年 教諭 石野 友希

### 1 課題設定の理由

本学級の児童は、授業中は発言が多く学習意欲がとて高いと感じている。また、授業以外でも、様々な活動に前向きな態度で取り組む姿がみられる。一方で、自分の考えていることをうまく言葉に表すことが難しく、自分の思いを相手に伝えることができない場面を多くみてきた。自己表現力が乏しいために、トラブルが生じてしまうことも多々ある。そこで、小学校の入門期である1年生において、自己表現力を高め、友達との対話を通して良好な人間関係を築いたり、学習の「分かる・できた」喜びを積み重ねたりすることで、安心して過ごせる学級づくりをしたいと考え、本課題を設定した。

### 2 研究実践

本学級の児童は、国語科で自分のことを話すときや、登場人物の行動から想像を広げて読むとき、また、道徳科で登場人物の心情を考えるとき等に、「間違えると恥ずかしい」「上手く言えるか自信がない」という思いから、自分の意見を皆に向けて話すことに抵抗がある児童が多かった。そこで、気持ちを表情の絵カードで表した「きもちせんたいキモチンジャー」を作成し、絵カードを基に自分の考えを表現できるようにした。

#### (1) 国語科における活用場面

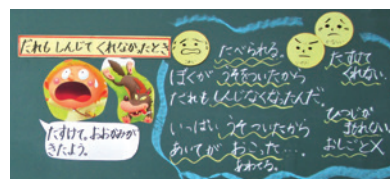
5月「わけをはなそう」では、「私は～（気持ち）です。どうしてかと言うと、～（出来事）からです。」の話型に沿って伝えたい内容を考えるときにカードを示し、児童に選択させ、持たせて発表させた。ひらがなの読みが未習得の児童であっても、絵カードの表情から自分の伝えたい気持ちを決める姿がみられた。過去の「楽しい」「嬉しい」ことを紹介する児童が大多数を占めたが、「私はどきどきしています。どうしてかと言うと、習い事の発表会があるからです。」や「ぼくはわくわくしています。どうしてかと言うと、旅行に行くからです。」などと、未来のことを紹介する姿もみられた。考えるときに用いることで、伝えたい気持ちの幅が広がり、それぞれの思いを話すことができた。



9月「くじらぐも」では、各場面で登場人物の行動を本文より読み取り、児童が登場人物になりきって動作化を行った後、子供とくじらぐもの様子を思い浮かべる時間を設けた。掲示されている「キモチンジャー」を基にワークシートに書き込む児童の姿がみられた。また、子供がくじらぐもに飛び乗る場面では、話合いの中で「くじらぐもに応援されたから頑張る気持ちが100になった。」「100だからくじらぐもに乗れたのだと思う。」「最初は頑張る気持ちが30くらいで、だんだん100になってきたから、音読するときも声をだんだん大きくしたらよい。」などと、絵カードを選択するだけでなく、数字を使って登場人物の気持ちの変化を表す姿が広まった。

#### (2) 道徳科における活用場面

教材「ひつじかいのいたずら」では、羊飼いの気持ちを考えるときに用いた。嘘をついて大人をだましたときの羊飼いの気持ちとして、「面白い」「楽しい」「嬉しい」の3種類、誰も信じてくれなくなったときの羊飼いの気持ちとして「悲しい」「困った」「嫌だ」「怖い」の4種類の絵カードが選ばれた。言葉で表現することが難しい児童でも自信をもって絵カードを選ぶ姿がみられた。さらに、児童が絵カードを基に自分の考えを述べることで、同じ絵カードを選んでいても異なる考えがあることに気付いたり、羊飼いは複数の気持ちが入り交ざっていることに気付いたりすることができた。



#### (3) その他の活用場面

生徒指導上のトラブルが生じ、自分の気持ちをうまく言葉にできないときにも用いた。児童にそのときの気持ちに合った絵カードを選んでもらい、気持ちを汲み取りながら聞き取りを行うことで、児童は問題行動を落ち着いて振り返ることができた。

### 3 研究の成果

表情の絵カードを用いて国語科や道徳科の学習を行うことで、思いを伝えることが苦手な児童でも「選ぶ」ということ自己決定し、自信をもって学習に参加できた。また、「同じ絵カードを選んでいる」という安心感から発表への抵抗が減り、自己表現する児童が増えた。さらに、感情には様々な種類や程度があることに気付き、自己理解や他者理解へとつながる手立てとなった。

### 4 今後の課題

良好な人間関係を築くために、絵カードに頼らなくても自己表現できるよう指導していく必要がある。



## 令和7年度 教育助成要項

校内研修の活性化及び特色ある学校づくりにかかる費用への助成を行う事業です。

1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部

### 2. 助成要件

#### (1) 助成の趣旨

- ・ 令和7年度に行う校内研修や特色ある学校づくりにかかる費用への助成を通して学校教育の向上発展に寄与します。
- ・ 申請に対し1校につき3万円以内の助成をします。

#### (2) 助成の対象にならないもの

- ① 営利目的又は営利につながる可能性の大きいもの
- ② 他の機関からの委託によるもの
- ③ 既に終了しているもの
- ④ 自己の財源によって十分に研究活動ができるもの

#### (3) 助成対象外とする費用

- ① 応募する申請者本人の人件費及び謝金（共同者も含む。）
- ② 汎用性のある機器等の購入費
- ③ 組織等の一般管理費（例：懇親会等の飲食費）等
- ④ 海外旅費（ただし、国内旅費は申請額の30%までとします。）
- ⑤ その他研究に直接関係がない講習会費、物品等

#### (4) 応募対象

小学校、義務教育学校、特別支援学校（小学部）

#### (5) 応募期間 令和7年5月7日（水）～令和7年6月6日（金）

#### (6) スケジュール

|          |                                  |
|----------|----------------------------------|
| 令和7年6月下旬 | 教育振興事業選考委員会で選考を行います。             |
| 7月上旬     | 採否の結果と助成金交付時期(8月下旬予定)を文書にて通知します。 |
| 11月中旬    | 会報「教弘とやま」に助成一覧を掲載します。            |

### 3. 申請について(申請書はWEBの申請フォームから自動作成となります) 2、3頁参照

- (1) 「教育助成申請書」を提出してください。
- (2) 申請フォームに必要事項を入力し、送信してください。
- (3) 適正に取得した個人情報をご当会の教育振興事業の運営のために利用します。

### 4. 選考について

#### (1) 選考方法

日教弘富山支部教育振興事業選考委員会の選考後、富山支部幹事会の議を経て支部長が対象者を決定します。

#### (2) 選考基準

事業の公益性・社会性・適正性・必要性・実現性の基準により選考します。

**5. 報告について(報告書はWEBの報告フォームから自動作成となります) 2、3頁参照**

- (1) 研修内容と成果、助成金の主な使途についての報告を提出してください。
- (2) 助成金は申請通り使うこととし、領収書のコピーを必ず添付してください。  
尚、領収書は助成額以上となるようお願いします。(59頁参照)
- (3) 報告フォームに必要事項を入力し、送信してください。また、成果資料等があれば  
フォームに添付してください。なお、成果資料等は支部が公表できるものとします。

**6. 報告の提出日** 令和8年2月27日(金)までに提出してください。

**7. その他注意事項**

- (1) 申請書及び成果報告書の記載内容については、担当者は、代表者(学校長等)に承認を  
もらった後に送信してください。
- (2) 提出された書類等は返却しません。
- (3) 書類管理の都合上、当支部への持参はお断りします。
- (4) 万一、故意の虚偽記載、同一テーマによる重複申請、又は研究倫理上の問題等が認  
められた場合は、当該申請は無効とし、以降の申請は受け付けられません。

**8. 問い合わせ先**

〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内  
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部  
TEL: 076-464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 氏

所在地

学校名

校長名

連絡先(TEL) ( ) -

## 教育助成申請書

下記のように研修を行うに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、ここに申請いたします。

|                   |  |
|-------------------|--|
| 研修テーマ             |  |
| 研修にかかる教材・教具等とその費用 |  |
| 使用計画・概要           |  |

※飲食費等は助成の対象になりません。

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 〒 938-△△△△

所在地 黒部市〇〇町△△

学校名 黒部市立〇〇小学校

校長名 校長 射水 一郎

連絡先(TEL) ( 0765 ) △△ - △△△△

## 教育助成申請書

下記のように研修を行うに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、ここに申請いたします。

|                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>研修テーマ</b><br>主体的に学習に取り組み、共に高め合う子供の育成                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                        |
| <b>研修にかかる教材・教具等とその費用</b><br>・ ホワイトボード 1 枚 △△△円      ・ 講師謝金 △△△円<br>・ 〇〇学習教材 △△△円                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                        |
| <b>使用計画・概要</b>                                                                                         | ・ 〇〇を活用し、〇〇学習の活動に役立てる。<br>・ 〇〇するために使用する。 等<br><br>※児童・生徒が使用する場合は、汎用性のある機器（デジタルカメラ・ビデオカメラ等）であっても助成対象となります。                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                        |
|                                                                                                        | <table border="1"> <tr> <td> <b>助成の対象にならないもの</b><br/>           1 営利目的又は営利につながる可能性の大きいもの<br/>           2 他の機関からの委託によるもの<br/>           3 既に終了しているもの<br/>           4 自己の財源によりできるもの         </td> <td> <b>助成対象外とする費用</b><br/>           1 申請者本人の人件費等<br/>           2 汎用性のある機器等の購入費<br/>           3 懇親会等の飲食費<br/>           4 直接関係がない物品等         </td> </tr> </table> | <b>助成の対象にならないもの</b><br>1 営利目的又は営利につながる可能性の大きいもの<br>2 他の機関からの委託によるもの<br>3 既に終了しているもの<br>4 自己の財源によりできるもの |
| <b>助成の対象にならないもの</b><br>1 営利目的又は営利につながる可能性の大きいもの<br>2 他の機関からの委託によるもの<br>3 既に終了しているもの<br>4 自己の財源によりできるもの | <b>助成対象外とする費用</b><br>1 申請者本人の人件費等<br>2 汎用性のある機器等の購入費<br>3 懇親会等の飲食費<br>4 直接関係がない物品等                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                        |

※飲食費等は助成の対象になりません。

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

## 教育助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

学校名

校長名

連絡先(TEL) ( ) -

下記のとおり「領収書」を添えて報告します。

|                 |
|-----------------|
| 実践研修テーマ         |
| 現状（課題）とテーマ設定の理由 |
| 実施期間            |
| 研修内容と成果         |
| 助成金の主な使途        |

## 教育助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

学校名 黒部市立〇〇小学校

校長名 校長 射水 一郎

連絡先(TEL) ( 0765 ) 〇〇〇 - 〇〇〇〇

下記のとおり「領収書」を添えて報告します。

|                                                              |
|--------------------------------------------------------------|
| <b>実践研修テーマ</b><br>若手教職員の指導力向上を・・・・・・・・・・                     |
| <b>現状（課題）とテーマ設定の理由</b><br>今年度は、昨年度の研修を・・・・・・・・・・             |
| <b>実施期間</b><br>令和7年4月1日～令和8年3月31日                            |
| <b>研修内容と成果</b><br>(1) 研修内容<br>・<br>・<br><br>(2) 成果<br>・<br>・ |
| <b>助成金の主な使途</b><br>・ 〇〇制作費 ・ 講師謝金 等 計 △△△円                   |

WEB報告のお願い：報告書および添付書類はPDF形式にて報告フォームより送信してください。

〈添付書類〉 ・ 領収書（コピー）A4用紙に貼付してください。（59頁参照）

・ 成果資料等があれば添付してください。

## 教育助成報告書

令和7年12月12日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

学校名 ○○市立○○中学校

校長名 ○○ ○○

下記のとおり「領収書」を添えて報告します。

## 実践研修テーマ

確かな学力の定着と互いに認め合う心をはぐくむ生徒の育成  
 －主体的・対話的で深い学びをめざして－

## 現状（課題）とテーマ設定の理由

本校では「確かな学力の定着」に課題が見られるため、今年度は授業力の向上を目指し、校内研修を行った。学校訪問研修、各種公開授業研修（富山市教育センター主催初任者授業研修や2年次授業研修、中学校教育研究協議会東部地区大会理科部会）に向けた校内授業研修（互見授業研修）、講師を招聘した校内授業研修を中心に、授業の具体的な場面を捉えた研修を進めることとした。

## 研修内容と成果

## (1) 研修内容

視点1 生徒の学習意欲を高める課題設定

視点2 学びを深める手立ての工夫

## (2) 成果

- ①「課題」「確認」「振り返り」のマグネットシートを全授業で共通して使用している。生徒が考えたくなる課題を設定したり、授業での学びを自覚させる時間を確保したりする意識が高まった。
- ②生徒が自分の考えを客観的に捉え、表現する手立てを工夫している。例えば、理科の実験場面において現象をモデルで表現したり、保健体育科の球技の試合後には、作戦盤を用いて自分たちの動きを確認し、作戦を立てたりした。考えたくなる課題を意図的に設定し、タイミングを見計らって話合いの場を設けることで、生徒の学びに新たな気付きや深まりが生まれた。
- ③講師を招聘した校内研修では、講演前に講師と校内の教員が提案授業を参観したことで、授業の具体的な場面で共通理解を図りながら講演を聴くことができた。「各教科における思考力・判断力を鍛える授業づくり」の演題で講演をいただき、生徒が「これならやれそう」「やってみたい」という学習課題や学習活動をどう設定していくか学ぶことができた。普段の授業づくりに対する意識の変化が見られた。



【理科の授業の様子】



【保健体育科の授業の様子】



【講師を招いた校内研修】

## 助成金の主な使途

講師謝金3万円（講師：福井大学教育学部言語教育講座国語教育学准教授萩中奈穂美先生）

領収書（A4サイズPDF形式で、添付して送信してください。）  
領収書に但し書きや支払い先がない場合（払入票など）は  
請求書もPDF形式で添付してください。

①

台紙2枚以上  
になる場合は  
番号を付けて  
ください

領収書

令和7年10月15日

富山市立弘済小学校 殿

|    |  |   |   |   |   |   |   |
|----|--|---|---|---|---|---|---|
| 金額 |  | ¥ | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 |
|----|--|---|---|---|---|---|---|

但し マグネット付プレート代（20枚）

(株) とやま文具店 印

領収書の金額を合  
算して助成金以上  
になるようにして  
ください  
(領収書1枚でも可)

領収書

富山市立弘済小学校 殿

|    |  |  |   |   |   |   |   |   |
|----|--|--|---|---|---|---|---|---|
| 金額 |  |  | ¥ | 2 | 3 | 1 | 0 | 0 |
|----|--|--|---|---|---|---|---|---|

(内、消費税 ¥2,100)

但 レーザーポインター一式 として

入金日 令和7年9月30日 上記正に領収いたしました

株式会社 日教弘でんき 印

※宛名のわかる  
領収書を提出  
してください。



ふたばちゃん

## 情報の窓Ⅱ

令和6年度『教弘とやま』第135号

令和6年11月15日発行

### 教育文化事業報告

## 富山の魅力発見講座Ⅶに参加して

講師:株式会社プロジェクトデザイン 福井信英氏  
日時:令和6年7月26日(金)9:00～  
場所:滑川市民交流プラザ 多目的ホール

### 富山の魅力発見講座Ⅶから学んだこと

滑川市立東部小学校  
教諭 野澤 美朝

岩瀬浜は自分自身プライベートでよく行く場所ですが、これだけたくさんのごみが落ちていたのはとても驚きました。また、そのごみが増えることに自分たちが加担していたことにも驚きました。「ごみを極力減らしたい!」「リサイクルする!」などの思いもきれいな環境をつくるためにとても大切ですが、それはみんなの意識や技術力があることが前提の話なのだと分かりました。一人一人ができることは些細なものです。私たち教員は多くの人と関わる仕事であるため、まずは目の前の子供たちへ呼びかけを行うことが大事だと思います。しかし、現状によってはいくら努力しても無意味になる可能性があることもよく分かりました。ごみ問題に限らずに何か行動する際には、現状を把握してから行動することが大切だと感じました。

本講義のゲームでは富山の町をきれいにしたいという受講者たちの意欲がすごく、とても楽しかったです。大人でもこれほど楽しめるということは子供たちならもっと楽しんでくれそうだと感じたので学級でも取り組んでみたいです。そしてこの講義で得た学びを日々の実践に生かしたいです。

### 富山の魅力発見講座で学んだこと

富山市立豊田小学校  
教諭 鶴岡 ゆり

富山の魅力発見講座に参加させていただき、とても充実した時間を過ごすことができました。今回の講座を通して学んだことは、ごみを減らすためには、様々なことが関係するということです。ごみを減らすためには、まず人々のごみを減らそうとする意識が高まることが大切ですが、意識が高まると同時にごみを減らしていく技術も高まっていかなければごみは減っていきません。一方で、ごみを減らすことに意識が向きすぎると、人々が生活に窮屈さを感じてしまうので、バランスが大事だということが分かりました。

また、ごみを減らすためには、協力し合うことが大切だということも学びました。1人で減らせるごみの量は少なくても、みんなとごみを減らすための取り組みや、あまり効果がないと考えられる取り組みも共有することで、誰かの役に立つということが分かりました。これは、学級経営にも生かせる考えだと思います。どんな考えも共有し合える学級づくりをしていきたいと思います。海洋ごみのことだけではなく、学級のことについても考えさせられる講座でした。ありがとうございました。

### 自ら学び、自ら考えるゲーム活用

富山市立上滝中学校  
教諭 越坂 亜美

今回、「富山の魅力」と「カードゲーム」がどう組み合わせるのか気になり、参加させていただきました。海洋ごみ問題に関するカードゲームを体験するにあたり、講師の福井先生から海洋ごみ問題や富山湾の状況についてのお話がありました。富山県内の海岸にある漂着ごみの8割が県内河川等から流れてきているという実態を受け、私がイメージしていた「美しい富山の海」と断言できないことに驚きつつ、日常生活と海洋ごみ問題を切り離して考えていた自身の意識の低さを痛切に感じました。

「CHANGE FOR THE BLUEカードゲーム」の体験を通して、「海洋ごみを減らすために自分たちが選んだ役割で何ができるか?」「この行動は今のまちの状況に適したものなのか?」について考え、話し合っていくうちに、「ごみを減らそう!」という思いでゲームに熱中している自分がいました。このゲームを通して、「ごみ0」という目標に向かって、自然に周囲と協力して取り組むことができたと共に、より一層海洋ごみ問題を自分事として捉えることができました。また、ゲームを活用して学習していくことは、子供の「自ら学び、自ら考える」力の育成につながるのではないかと、新たな可能性を見つけることもできました。

今回の講座で得た経験や知識を、日常生活や教育現場で、富山の海の豊かさを守るため、そして、子供の学びを充実させるために生かしていきたいです。

### 富山の魅力発見講座で学んだこと

滑川市立寺家小学校  
教諭 白畑 遥

今回の講座では、CHANGE FOR THE BLUEカードゲームを通じて、海洋ゴミを減らす方法を学びました。特に、海洋ゴミを減らすためには情報共有が重要であり、町での取り組みや結果を広く共有することが必要だという点が強調されました。この話を聞きながら、教員としても同様に情報共有が大切だと感じました。教員同士で取り組みや成果を共有することで、教育方法の選択肢が増え、子供たちに合った教育が提供できると思います。多くの選択肢があれば、子供たちとの関わりも豊かになり、教員自身も楽しく授業ができると考えます。

また、カードゲームでは町全体のバランスを考えながら取り組むことが求められました。この考え方は、学級経営にも応用できます。学級全体の状況を把握し、子供たちの意識や実力に応じた指導方法を考えることで、より良い学級作りができると感じました。今回の講座を通じて得た気付きを、普段の生活や教育現場に生かしていきたいです。



愛犬リーフ

## PART 2

## 教育文化事業

|                      |    |
|----------------------|----|
| 🍀 文化振興助成 .....       | 61 |
| 🍀 特別支援学校教育支援助成 ..... | 66 |



## 令和7年度 文化振興助成要項

青少年の健全な育成を目的とした、文化・芸術・スポーツの振興に資する事業、並びにこれに準ずると認められる事業の展開にあたる社会教育団体等からの申請に対して、事業規模と内容に応じて助成する事業です。

1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部

### 2. 助成要件

#### (1) 助成の趣旨

- ・富山県の社会教育団体等が令和7年度に行う青少年の健全な育成を目的とした、文化・芸術・スポーツの振興に資する有益な事業を対象とした助成を通して社会教育の向上発展に寄与します。
- ・申請に対し1件につき3万円～10万円程度を助成します。

#### (2) 助成の対象にならないもの

- ① 営利目的、または営利につながる可能性の大きいもの
- ② 他の機関からの委託によるもの
- ③ 既に終了しているもの

#### (3) 応募対象

社会教育団体等（富山県内で活動する非営利団体、グループ）

- ① 応募者が計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及び報告を行うことを条件とします。
- ② 1年間（4月1日から3月31日）で完了する研究・活動等とします。

#### (4) 応募期間 令和7年5月7日(水)～令和7年6月6日(金)

#### (5) スケジュール

令和7年6月下旬 教育振興事業選考委員会で選考を行います。

7月上旬 採否の結果と助成金交付時期(8月下旬予定)を文書にて通知します。

11月中旬 会報「教弘とやま」に助成一覧を掲載します。

### 3. 申請について(申請書はWEBの申請フォームから自動作成となります)2、3頁参照

- (1) 計画資料と団体の規約を添えて提出してください。
- (2) 申請フォームに必要事項を入力し、送信してください。
- (3) 適正に取得した個人情報に当会の教育振興事業の運営のために利用します。

### 4. 選考について

#### (1) 選考方法

日教弘富山支部教育振興事業選考委員会の選考後、富山支部幹事会の議を経て支部長が対象者を決定します。

#### (2) 選考基準

事業の公益性・社会性・適正性・必要性・実現性の基準により選考します。

### 5. 報告について(報告書はWEBの報告フォームから自動作成となります)2、3頁参照

- (1) 活動内容と成果、助成金の主な使途についての報告を提出してください。
- (2) 助成金は申請通り使うこととし、領収書のコピーを必ず添付してください。尚、領収書は助成額以上となるようお願いいたします。(59頁参照)
- (3) 報告フォームに必要事項を入力し、送信してください。また、成果資料等があればフォームに添付してください。なお、成果資料等は支部が公表できるものとします。

### 6. 報告の提出日 令和8年2月27日(金)までに提出してください。

7. 問い合わせ先 〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内  
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 TEL(076)464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 〇

所在地

団体名

Tel ( ) —

代表者

職 名

氏 名

## 文化振興助成申請書

下記のように文化事業を展開するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙計画資料を添えて申請いたします。

## 記

1. 事業名
2. 開催期日
3. 主催者名
4. 後援者名
5. 参加者数及び内訳
6. 総事業費
7. 計画資料（別紙）
8. 組織規約（別紙）

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 千 933-△△△△  
 所在地 高岡市〇〇-△  
 団体名 高岡〇〇教育文化研究会  
 Tel (0765) 33 - 0000  
 代表者  
 職 名 会長  
 氏 名 入善 一郎

## 文化振興助成申請書

下記のように文化事業を展開するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙計画資料を添えて申請いたします。

### 記

1. 事業名 第△△回 〇〇展覧会
2. 開催期日 令和7年△△月△△日(木)～△△月△△日(月)
3. 主催者名 高岡〇〇教育文化研究会
4. 後援者名 富山県小中〇〇研究会 ※ない場合は「なし」と記入
5. 参加者数及び内訳 1,000名(教職員100名、児童生徒300名、保護者600名)
6. 総事業費 △△△円
7. 計画資料(別紙) ※様式は自由(①活動内容②経費内訳が分かるもの)
8. 組織規約(別紙)

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

## 文化振興助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地

団体名

代表者 職 名

氏 名

連絡先(TEL)

下記のとおり領収書を添えて報告します。

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 事業名             |       |
| 開催期日            |       |
| 助成金額            |       |
| 活動内容と<br>成 果    |       |
| 助成金の<br>使 途 明 細 | (計 円) |

## 文化振興助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 高岡市〇〇-△

団体名 高岡〇〇教育文化研究会

代表者 職 名 会 長

氏 名 入 善 一 郎

連絡先(TEL) 〇 7 6 6 - 〇 〇 - 〇 〇 〇 〇

下記のとおり領収書を添えて報告します。

|                    |                                                                                |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 事 業 名              | 第△△回 〇〇展覧会                                                                     |
| 開 催 期 日            | 令和 7 年△△月△△日(木)～△△月△△日(月)                                                      |
| 助 成 金 額            | △△△円                                                                           |
| 活 動 内 容 と<br>成 果   | 1. 活動内容<br>(1)<br><br>(2)<br><br>(3)<br><br>2. 成果<br>・<br>・                    |
| 助 成 金 の<br>使 途 明 細 | ・ 会場費 △△△円<br>・ 表彰盾 △△△円<br><br><div style="text-align: right;">(計 △△△円)</div> |

WEB報告のお願い：報告書および添付書類は PDF 形式にて報告フォームより送信してください。

〈添付書類〉 ・領収書（コピー）A4 用紙に貼付してください。（59頁参照）

・成果資料等があれば添付してください。

## 令和7年度 特別支援学校教育支援助成募集要項

特別支援学校を対象とした教育支援事業は、そこに学ぶ幼児・児童・生徒の教育環境の充実のための支援を行うことを目的としています。

### 1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部

### 2. 助成要件

#### (1) 助成の趣旨

青少年の健全な育成に資するため、教育・文化の発展・向上に寄与するという当会の目的を実現するため、特に教育環境づくり工夫が必要とされる特別支援学校を対象に、教育図書または教材・教具購入の助成を通して、学校教育の向上・発展に寄与することを趣旨とします。

#### (2) 助成の対象にならないもの

- ① 営利目的、または営利につながる可能性の大きいもの
- ② 他の機関からの委託によるもの

#### (3) 応募対象

国公立の特別支援学校

(分校・分離校舎のある学校では、それぞれの校舎も対象とします)

#### (4) 応募期間 令和7年5月7日(水)～令和7年6月6日(金)

#### (5) 助成金額・使途

1校あたり10万円(税込)を上限とします。

**助成金の使途は、教材・教具、教育図書の購入とします。**

ただし、以下に記載した費用は対象外とします。

- ① 教職員用の図書を購入する費用
- ② 娯楽性の高いマンガ・雑誌等を購入する費用
- ③ 教材・教具の場合、汎用性のある機器(デジタルカメラ等)の購入費(生徒が活用し、申請理由に関連する教育活動において使用される場合に限り、対象となる場合があります。)

#### (6) スケジュール

令和7年6月下旬 教育振興事業選考委員会で選考を行います。

7月上旬 採否の結果と助成金交付時期(8月下旬予定)を文書にて通知します。

11月中旬 会報「教弘とやま」に助成一覧を掲載します。

### 3. 申請について(WEBでの申請になります)

- (1) 申請フォームに必要事項を入力して、申請してください。
- (2) 適正に取得した個人情報に当会の教育振興事業の運営のために利用します。

#### 【個人情報の取り扱いについて】

- ・申請書に入力された個人情報は、選考及び選考結果の通知のために使用します。
- ・助成が決定した場合は、申請書に入力された助成対象の学校名、助成内容、助成金額や贈呈式の様子を、ホームページ、広報誌等で公表することがあります。

#### 4. 選考について

##### (1) 選考方法

日教弘富山支部教育振興事業選考委員会の選考後、富山支部幹事会の議を経て支部長が対象校を決定します。

##### (2) 選考基準

事業の公益性・社会性・適正性・必要性・実現性の基準により選考します。

#### 5. 報告について（WEBでの報告になります）

(1) 「成果報告書」と「購入報告書」をフォームに添付して提出してください。

(2) 助成金は申請通りに使うこととし、領収書（コピー可、A4 サイズ PDF 形式で）を必ず添付してください。尚、領収書は助成額以上となるようお願いします。

(3) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。また、成果資料等があれば添付してください。別紙、成果報告書・資料等は支部が公表できるものとします。

#### 6. 報告の提出日 令和8年2月27日（金）までに提出してください。

#### 7. その他注意事項

(1) 提出された書類等は返却しません。

(2) 万一、故意の虚偽記載の問題等が認められた場合は、当該申請は無効とし、以降の申請は受け付けられません。

(3) 選考結果の情報および採否の理由についての問い合わせには回答しません。

#### 8. 問い合わせ先

〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内  
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部  
TEL: 076-464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 氏

所在地

学校名

校長名

連絡先（TEL）（ ） ー

## 特別支援学校教育支援助成申請書

下記のとおり、特別支援学校教育支援助成について申請いたします。

|          |
|----------|
| 1. 申請の理由 |
| 2. 申請金額  |

## 3. 予定される教材・教具（申請時）

| 番号  | 教材・図書名（出版社）等 | 金額（税込） | 内訳（セット数） |
|-----|--------------|--------|----------|
| 1   |              |        |          |
| 2   |              |        |          |
| 3   |              |        |          |
| 4   |              |        |          |
| 5   |              |        |          |
| 6   |              |        |          |
| 7   |              |        |          |
| 8   |              |        |          |
| 9   |              |        |          |
| 10  |              |        |          |
| 合 計 |              | 円      |          |

〔個人情報の取扱いについて〕

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

令和 7 年 5 月 25 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 〒 930 -△△△△  
 所在地 富山市〇〇町〇丁目〇〇番地  
 学校名 富山県立□□□□支援学校  
 校長名 富山 太郎  
 連絡先（TEL）（076）444 - △△△△

### 特別支援学校教育支援助成申請書

下記のとおり、特別支援学校教育支援助成について申請いたします。

|                                                                                                                                             |           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 1. 申請の理由                                                                                                                                    |           |
| 障害の特性や発達段階に応じた教育環境の整備を行い、より効果的な支援ができるようにする。特に〇〇〇〇に障害のある本校の児童生徒の自立と社会参加につながる教育支援として、日々の学校生活の中で身体の動きやバランス感覚、移動能力の向上を図るために活用できる以下の教材・教具を申請したい。 |           |
| 2. 申請金額                                                                                                                                     | 100,000 円 |

### 3. 予定される教材・教具（申請時）

| 番号 | 教材・図書名(出版社)等                                                                                                                                                    | 金額(税込)  | 内訳(セット数)           |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------------|
| 1  | 室内カラー運動棒                                                                                                                                                        | 38,400  | 単価 9,600 円× 4 本    |
| 2  | 折りたたみ鉄棒                                                                                                                                                         | 51,200  | 単価 25,600 円× 2 セット |
| 3  | ハリーポッターと賢者の石(静山社)                                                                                                                                               | 11,600  | 単価 2,320 円× 5 冊    |
| 4  |                                                                                                                                                                 |         |                    |
| 5  |                                                                                                                                                                 |         |                    |
| 6  | ※ 弘済会富山支部 HP フォームから申請してください。<br>※ デジタルカメラ等の汎用性のある機器については助成対象外品目となっています。<br>ただし、生徒が活用し、申請の理由に関連する教育活動の教材・教具として使用される場合に限り、助成対象となる場合があります。<br>※ 飲食費等は、助成の対象になりません。 |         |                    |
| 7  |                                                                                                                                                                 |         |                    |
| 8  |                                                                                                                                                                 |         |                    |
| 9  |                                                                                                                                                                 |         |                    |
| 10 |                                                                                                                                                                 |         |                    |
|    | 合 計                                                                                                                                                             | 101,200 | 円                  |

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

## 特別支援学校教育支援助成 成果報告書

年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 〒

学校名

校長名

連絡先 (TEL) ( ) ー

|                                          |  |
|------------------------------------------|--|
| 主な助成品<br>(特徴的な教材・<br>教具、書籍名を<br>ご記入ください) |  |
| 助成品の活用・成果状況                              |  |

# 特別支援学校教育支援助成 成果報告書

令和 7 年 12 月 15 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 〒 930 -△△△△  
富山市〇〇町〇丁目〇〇番地

学校名 富山県立□□□□支援学校

校長名 富山 太郎

連絡先 (TEL) (076)444-△△△△

|                                                                                                                                                                            |                                                                                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>主な助成品<br/>(特徴的な教材・<br/>教具、書籍名を<br/>ご記入ください)</p>                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・折りたたみ鉄棒 (3セット)</li> <li>・カラー運動棒 (10 本セット)</li> <li>・ハリーポッターと賢者の石 (全5冊)</li> </ul> |
| <p>助成品の活用・成果状況</p> <p>1 生徒のコミュニケーション力を高める自立活動支援<br/>生徒のコミュニケーションの向上を目指して、毎朝、トレーニングタイムを設けた…</p> <p>2 自己理解を深める読書タイムの実施</p> <div> <p>活動の様子の写真など</p> <p>読書タイムの生徒の様子</p> </div> |                                                                                                                           |

## 特別支援学校教育支援助成 購入報告書

年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 〒

学校名

校長名

連絡先 (TEL) ( ) -

## 教材・教具、教育図書の購入内訳一覧

| 番号 | 品目・書籍名等 | 金額(税込) | 内訳(冊数、セット数、購入先等) |
|----|---------|--------|------------------|
|    |         |        |                  |
|    |         |        |                  |
|    |         |        |                  |
|    |         |        |                  |
|    |         |        |                  |
|    |         |        |                  |
|    |         |        |                  |
|    |         |        |                  |
|    |         |        |                  |
|    |         |        |                  |
|    | 合 計     |        |                  |

※別紙に番号を付けた領収書(コピー可)をA4サイズPDF形式にして添付してください。  
 ※上記購入内訳一覧の番号は領収書につけた番号と一致させてください。

# 特別支援学校教育支援助成 購入報告書

令和 7 年 12 月 15 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部長 様

所在地 〒 930 -△△△△

富山市〇〇町〇丁目〇〇番地

学校名 富山県立□□□□支援学校

校長名 富山 太郎

連絡先 (TEL) (076)444-△△△△

## 教材・教具、教育図書の購入内訳一覧

| 番号 | 品目・書籍名等      | 金額(税込)    | 内訳(冊数、セット数、購入先等)     |
|----|--------------|-----------|----------------------|
| 1  | 室内カラー運動棒     | 38,400    | 単価 9,600 円×4 本、〇〇教育社 |
| 2  | 折りたたみ鉄棒      | 51,200    | 25,600 円×2セット 〇〇スポーツ |
| 3  | ハリーポッターと賢者の石 | 11,600    | 単価 2,320 円×5 冊、〇〇書店  |
|    |              |           |                      |
|    |              |           |                      |
|    |              |           |                      |
|    |              |           |                      |
|    |              |           |                      |
|    |              |           |                      |
|    |              |           |                      |
|    | 合 計          | 101,200 円 |                      |

※別紙に番号を付けた領収書(コピー可)をA4サイズPDF形式にして添付してください。  
 ※上記購入内訳一覧の番号は領収書につけた番号と一致させてください。





よつば先生とその仲間たち

## PART 3

## 奨学事業

|                        |    |
|------------------------|----|
| 🍀 貸与奨学生募集 .....        | 75 |
| 🍀 給付奨学生募集 .....        | 77 |
| 🍀 大学給付奨学生（予約型）募集 ..... | 81 |



## 令和7年度 貸与奨学生募集要項

勉学意欲がありながら経済的理由により修学困難な学生に対し奨学金を貸与する事業です。

1. **募集対象** 大学院、大学、短期大学、高等専門学校（第4学年以上）  
及び専修学校専門課程に入学または在学者

2. **募集人数** 若干名

3. **貸与金額** 4年制大学 100万円  
短大(2年制) 50万円

＊修業期間1年につき25万円を1人100万円を限度に無利息で貸与します。

### 【貸与例】

- ・4年制大学の2年生に貸与した場合（残存修業期間は2～4年生の3年間）  
 $25 \text{ 万円} \times 3 \text{ 年間} = 75 \text{ 万円}$ まで貸与可能
- ・2年制短期大学卒業後4年制大学の3年生に編入した場合（残存修業期間は3～4年生の2年間）  
 $25 \text{ 万円} \times 2 \text{ 年間} = 50 \text{ 万円}$ まで貸与可能
- ・4年制大学で2年生の時に75万円を貸与した奨学生が、大学院修士課程に進学した場合 すでに75万円貸与しているので、貸与上限100万円－75万円＝25万円まで貸与可能

4. **貸与方法** 一括貸与します。（6月下旬の予定）

5. **返還方法** 卒業した年の12月から10年にわたる分割返済です。  
（100万円未満は8年分割返済）

＊大学院に進んだ場合は、返済延期手続きは可能です。

＊年賦返済金が延滞したときは、延滞金を徴収します。

6. **申込期間** 令和7年2月20日（木）～令和7年4月30日（水）までです。

7. **申込方法** 本会事務局へ電話でお申し出ください。  
その後、「貸与奨学金申込書」を提出してください。

〔添付書類〕申請には、以下の書類が必要です。

- ・所得に関する証明書〔市町村の所得証明書（コピー可）〕
- ・在学証明書〔原本〕

### 8. その他

- ・債務者は奨学生本人です。連帯保証人は親族（4親等以内の成年者）等とし連帯債務を負います。
- ・申請書類には、奨学生本人と連帯保証人のそれぞれの自署捺印が必要です。
- ・同一筆跡の場合は受理できませんのでご注意ください。

9. **選考と決定** 教育振興選考委員会で審査のうえ、決定します。

10. **送付先（問い合わせ先）** 〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内  
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 TEL(076)464-3703

# 貸与奨学金申込書

令和 年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 様

貴会の貸与奨学金を受けたいので、申し込みます。

また、下記「個人情報の取扱いについて」の事項を確認し了承しました。

|             |               |                      |       |         |             |
|-------------|---------------|----------------------|-------|---------|-------------|
| 生<br>徒      | フリガナ          |                      | 性 別   | 生 年 月 日 |             |
|             | 氏 名           | ⑩                    | 男 ・ 女 | 平成      | 年 月 日 (満 歳) |
|             | 在 学 校 名       | 高等学校<br>高等専門学校<br>学校 | 学 年   |         |             |
|             | 入学予定<br>学 校 名 |                      |       | 年 制     |             |
| 親<br>権<br>者 | フリガナ          |                      | 性 別   | 生徒との続柄  |             |
|             | 氏 名           | ⑩                    | 男 ・ 女 |         |             |
|             | 現住所           | 〒 自宅 ( )<br>携帯電話 ( ) |       |         |             |
|             | 勤務先           | 名 称<br>所在地 〒 TEL ( ) |       |         |             |
| 備 考         |               |                      |       |         |             |

- (注) 1. 印鑑は生徒と親権者で、それぞれ別の印鑑を使用してください。  
2. 備考欄には申込に当たっての特別な事情があれば記入してください。

家族記入欄（生徒本人は除く）

| 続柄 | 氏 名 | 性別 | 年齢 | 勤 務 先 等 | 備 考 |
|----|-----|----|----|---------|-----|
|    |     |    |    |         |     |
|    |     |    |    |         |     |
|    |     |    |    |         |     |
|    |     |    |    |         |     |
|    |     |    |    |         |     |
|    |     |    |    |         |     |

※「個人情報の取扱いについて」

- 当会は、適正に取得した個人情報を当会の奨学事業の運営のために利用します。
- 当会の個人情報の取り扱いについては、当会ホームページ (<https://www.nikkyoko.or.jp>) をご覧ください。

|     |     |       |
|-----|-----|-------|
| 受 付 | No. | 年 月 日 |
|     |     |       |

## 令和 7 年度 給付奨学生募集要項

### 1. 応募資格

富山県の高등학교（特別支援学校の高部を含む）に在籍する第3学年の生徒とし、修学意欲がありながら、学資金の支払いが特に困難である者。

### 2. 推薦の条件

- (1) 家庭の事情で経済的援助が特に必要であること。
  - (2) 向学心に富み学業に耐えうる者であること。
  - (3) 生徒会活動（部活動も含む）に意欲的な者であること。
- ＊ 他の奨学金との併給も可。

### 3. 奨学金給付の内容

- (1) 給付金額 奨学生一人に対し 10 万円を給付します。
- (2) 募集人数 40 名

### 4. 応募の手続き

- (1) 提出書類
  - ①給付奨学生申請書・・・・・・・・・・・・・・（給奨学様式 1）
  - ②高等学校等給付奨学生推薦書（学校用）・・・・・・（給奨学様式 2）
  - ③成績証明書・・・・・・・・・・・・・・学校の様式で厳封したもの
- (2) 応募期間 令和 7 年 4 月 1 日（火）～ 令和 7 年 5 月 30 日（金） 必着
- (3) 書類提出先

〒 939-8084 富山市西中野町 1-1-18 オフィス西中野内  
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 宛  
TEL : 076-464-3703 FAX : 076-464-9818

＊個人情報保護との関わりもありますので、取扱・送付に十分ご配慮願います。

### 5. 奨学生の選考

富山支部の教育振興事業選考委員会の選考を経て、支部長が推薦し本部理事長が決定した結果を、学校長経由で本人へ通知します。

### 6. 給付金交付

給付金は、学校長より生徒本人（親権者同伴）に手交します。

### 7. 成果報告書の提出

奨学金の給付を受けた者は給付後 1 月末日まで、学校を通して給付奨学生成果報告書（給奨学様式 3）を富山支部長に提出することとします。

### 8. 奨学金の返還

奨学生が、次の事項のいずれかに該当したときには、ただちに給付金を返還するものとします。

- (1) 休学または退学したとき
- (2) 奨学生としてふさわしくない行為のあったとき

※

|       |    |   |   |   |  |  |
|-------|----|---|---|---|--|--|
| 決定番号  |    |   |   |   |  |  |
| 決定年月日 | 令和 | 年 | 月 | 日 |  |  |

## 給付奨学生申請書

令和 年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会  
理事長 鈴木 岐 様  
富山支部 支部長 青木 正邦 様

貴会募集の高等学校等給付奨学生としてご採用いただきたく、申請します。  
また、下記「個人情報の取扱いについて」の事項を確認し承しました。

|        |      |                                   |                            |                      |                                                        |       |
|--------|------|-----------------------------------|----------------------------|----------------------|--------------------------------------------------------|-------|
| 生徒     | フリガナ |                                   |                            | 性 別                  | 生 年 月 日                                                |       |
|        | 氏 名  | ⑩                                 |                            | 男 ・ 女                | 平成 年 月 日 (満 歳)                                         |       |
|        | 学校名  | 高等学校<br>高等専門学校<br>専修学校高等課程<br>その他 | 全日・定時・通信・<br>専科・別科・他<br>学年 | 令和 年 入学<br>令和 年 卒業見込 |                                                        |       |
| 親権者    | フリガナ |                                   |                            |                      |                                                        | 性 別   |
|        | 氏 名  | ⑩                                 |                            |                      |                                                        | 男 ・ 女 |
|        | 現住所  | 〒 TEL ( )                         |                            |                      |                                                        |       |
| 給付申請金額 |      |                                   |                            | その他                  | 所得証明書（前年分の源泉徴収票「写」、確定申告「写」または納税証明書等）の提出をしていただく場合があります。 |       |
| 備 考    |      |                                   |                            |                      |                                                        |       |

- (注) 1. 生徒欄は奨学生本人が自署してください。  
 2. 親権者欄は親権者本人が自署してください。なお、申請時の年齢が18歳以上の場合、身元保証人について記入してください。  
 3. 備考欄には、申請に当たっての特別な事情を記入してください。  
 4. 「個人情報の取扱いについて」  
 ●当会は、適正に取得した個人情報を当会の奨学事業の運営のために利用します。  
 ●当会の個人情報の取扱いについては、当会ホームページ (<https://www.nikkyoko.or.jp>) をご覧ください。

※印欄は記入しないでください。

|         |       |
|---------|-------|
| 推 薦 区 分 |       |
| 指 定 枠   | 特 別 枠 |
|         |       |

※指定枠・特別枠の  
いずれかに○を付けてください。

年 月 日

## 高等学校等給付奨学生推薦書（学校用）

公益財団法人 日本教育公務員弘済会  
理事長 鈴木 岐 様  
富山支部 支部長 青 木 正 邦 様

学校名 \_\_\_\_\_

校長名 \_\_\_\_\_ 職印

下記の生徒を貴会の高等学校等給付奨学生として推薦します。

### 記

|                                                      |         |            |
|------------------------------------------------------|---------|------------|
| 学 年                                                  | 第 3 学 年 |            |
| 氏 名                                                  |         |            |
| 住 所                                                  |         |            |
| 親権者氏名 ※                                              |         |            |
| 推 薦 理 由<br>(経済的援助が特に<br>必要である理由を<br>中心に記載してく<br>ださい) |         |            |
| 他の奨学金（給付）の有無                                         | 有 ( ) 無 |            |
| 生徒会活動<br>(部活動)                                       |         |            |
| 担当者 職名・氏名                                            | 職 名     | 担 当 者 氏 名  |
|                                                      |         |            |
|                                                      |         | 電話番号：( ) — |

※申請時の年齢が18歳以上の場合、身元保証人について記入してください。

|            |  |
|------------|--|
| 給付<br>決定番号 |  |
|------------|--|

### 給奨学様式 3

# 給付奨学生成果報告書

令和 年 月

公益財団法人 日本教育公務員弘済会  
理事長 鈴木 岐 様  
富山支部 支部長 青木 正 邦 様

[illegible]

学校を通して公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部に1月末日まで提出してください。  
ご報告いただいた内容は広報誌やHPで公開させていただくことがあります。

## 令和7年度 大学給付奨学生（予約型）募集要項

### 1. 応募資格

富山県の高等学校等に在籍する第3学年の生徒で、修学意欲がありながら学資金の支払いが特に困難と認められる者。

### 2. 求める学生像

将来、社会の発展に貢献したいという高い志のもと、自らの夢や目標を明確にもち、その実現に向け学び続ける者。

### 3. 推薦の条件 次の全ての要件を満たすこと

- (1) 県内高等学校等の最終学年又は高等専門学校第3学年に在学し、全国の国公立大学（通信教育の学部・課程、短期大学、大学校は対象外）に進学を目指す生徒であること。
- (2) 家庭の事情により学費支弁困難（同一生計の収入合計金額400万円未満）と認められ、かつ修学意欲に富み、かつ学業を継続できると在学する高等学校等の校長の推薦を受けた生徒（1校1名まで）であること。
- (3) 在学期間における全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の生徒、又は特別支援学校高等部にあつては、校長が同程度の学力があると認める生徒であること。

### 4. 奨学金給付の内容

- (1) 給付金額 奨学生一人に対し月額3万円を給付します。（年4回振込、上限4年間）
- (2) 募集人数 4名
- (3) 実施期間 令和5年度大学入学生から令和9年度大学入学生までの5年間実施

### 5. 応募の手続き

- (1) 提出書類 ① 大学給付奨学生（予約型）申請書 ② チェックシート（収入・所得について）  
③ 申請者情報及び身元保証人確認書 ④ 個人情報の取扱いに関する同意書  
⑤ 世帯全員の所得証明書 ⑥ 大学給付奨学生（予約型）推薦書  
⑦ 成績証明書 ※⑥⑦は学校作成  
⑧ チェック欄付き送付状（申請書用）と（高等学校等用）  
弘済会富山支部ホームページを参照願います。

- (2) 応募期間 令和7年8月1日（金）～令和7年9月12日（金）必着

- (3) 書類提出先

〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内  
公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部 宛  
TEL：076-464-3703 FAX：076-464-9818

### 6. 奨学生の選考

富山支部の選考委員の第1次選考（書類選考）、第2次選考（面接選考）〔面接日 令和7年10月19日（日）〕を経て日本教育公務員弘済会理事長が奨学生内定者を選定し、高等学校等を通じて生徒本人に採用内定通知書を手交します。

### 7. 奨学生の採用決定

入学1年目の4月20日までに奨学生内定者が提出すべき書類（進学した大学の在学証明書、誓約書、振込依頼書）を提出した後、採用決定通知書が送付されます。

# 大学給付奨学生（予約型）申請書

（大給奨学様式1）

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 理事長 様

## 1. 申請者（本人）情報

|              |               |                                                                                          |
|--------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名 前          | フリガナ          | 生年月日（年齢 歳）                                                                               |
|              |               | 西暦 年 月 日生                                                                                |
| 学校名          | 国立・私立<br>( )立 | 課程<br>科                                                                                  |
| 学内外の活動・特技・資格 |               |                                                                                          |
| 当会の貸与奨学金     |               | <input type="checkbox"/> 申請予定 <input type="checkbox"/> 申請しない <input type="checkbox"/> 未定 |

## 2. 同一生計の家族及びその収入・所得に関する調査

捨  
印

|                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    |                         |                                        |                       |
|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|-------------------------|----------------------------------------|-----------------------|
| 同一生計<br>家族人数                                                                  | 人 ※下記項目に記入する人数と一致させてください。                                                                                                                                                                                                                                                                       |    |    |                         |                                        |                       |
| 就学者を除く家族（父母・祖父母等）                                                             | 続柄                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 名前 | 年齢 | 収入・所得金額（年間）※正確に記入してください |                                        |                       |
|                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    | 給与収入<br>（年間収入（支払）金額）    | 年金等収入<br>（年間収入（支払）金額）                  | 事業所得等<br>（所得証明書の所得金額） |
|                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    | 万円                      | 万円                                     | 万円                    |
|                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    | 万円                      | 万円                                     | 万円                    |
|                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    | 万円                      | 万円                                     | 万円                    |
|                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    | 万円                      | 万円                                     | 万円                    |
| ※収入・所得は世帯全員の金額を1万円単位（千円以下切り捨て）で記入してください。<br>なお、本人・兄弟姉妹（就学者に限る）のアルバイト収入は含めません。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    |                         |                                        |                       |
| 就学者（兄弟姉妹）                                                                     | 続柄                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 名前 | 年齢 | ◇設置者                    | ◇就 学 先 ※2                              | ◇通学状況                 |
|                                                                               | 本人                                                                                                                                                                                                                                                                                              | —  | —  | 国公立・私立                  | 高・高専・専修高等・その他                          | 自宅・自宅外                |
|                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    | 国公立・私立                  | 小・中・高・高専・専修高等<br>専修専門・短大・大学・大学院・その他（ ） | 自宅・自宅外                |
|                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    | 国公立・私立                  | 小・中・高・高専・専修高等<br>専修専門・短大・大学・大学院・その他（ ） | 自宅・自宅外                |
|                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    | 国公立・私立                  | 小・中・高・高専・専修高等<br>専修専門・短大・大学・大学院・その他（ ） | 自宅・自宅外                |
|                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    | 国公立・私立                  | 小・中・高・高専・専修高等<br>専修専門・短大・大学・大学院・その他（ ） | 自宅・自宅外                |
| 家庭事情等                                                                         | 下記の事項に該当する場合は、□にチェックを入れてく 内に続柄・人数・金額を記入してください。<br><input type="checkbox"/> 一人親世帯である又は養育者がいない<br><input type="checkbox"/> 主たる家計支持者（父母等）が単身赴任している 続柄< ><br><input type="checkbox"/> 同一生計の家族に障がいのある者がいる < >人 続柄< ><br><input type="checkbox"/> 同一生計の家族に長期療養を必要とする者がいる < >人 続柄< ><br>見込負担額< >万円（年間） |    |    |                         |                                        |                       |

※1 申請番号欄は事務局側で使用するので、記入しないでください。

※2 特別支援学校の場合には、該当する小・中・高等を選択します。

※3 この申請書は、申請者（本人）が手書きで記入します。

※4 この申請書は、両面印刷をして提出してください。

※1 申請番号

### 3. 志望大学・学部・学科

|        |    |    |    |
|--------|----|----|----|
| 第 1 志望 | 大学 | 学部 | 学科 |
| 第 2 志望 | 大学 | 学部 | 学科 |
| 第 3 志望 | 大学 | 学部 | 学科 |

4-1. 大学給付奨学金を必要とする理由について（経済的な事情や説明を要すると思われることを 300 字程度で記入してください）

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

4-2. 将来の希望（進路）や目標、大学で学びたいことや努力したいことについて（300字程度で記入してください。）

[illegible]

## 大学給付奨学生(予約型)申請書チェックシート(収入・所得について)

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 理事長 様

この度、貴会の大学給付奨学金を申請するにあたり、下記の事項について確認しました。

### 記

1. 同一生計家族に老齢年金・遺族年金・障害者年金を受給している者がいる。(はい・いいえ)

→「はい」の場合、所得証明書とは別に年金受給額がわかる書類の写しをご提出いただき、  
申請書の「年金等収入」欄に1年分の年金受給額を記入してください。

2. 同一生計家族に生活保護を受給している者がいる。(はい・いいえ)

→「はい」の場合、所得証明書とは別に生活保護受給額がわかる書類の写しをご提出いただき、  
申請書の「年金等収入」欄に1年分の生活保護受給額を記入してください。

3. 祖父母と同一生計家族である。(はい・いいえ)

→「はい」の場合、祖父母を含めて同一生計にある就学者以外の全員の所得証明書をご提出いただき、収入・所得金額を申請書に記入してください。

以上

令和 年 月 日

申請者氏名 \_\_\_\_\_

身元保証人氏名 \_\_\_\_\_

## 大学給付奨学生（予約型）推薦書

令和 年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 理事長 様

学校名 \_\_\_\_\_

校長名 \_\_\_\_\_ 公印 \_\_\_\_\_

下記の生徒を貴会の大学給付奨学生として推薦いたします。

### 記

#### 推薦する生徒

|      |  |    |                   |
|------|--|----|-------------------|
| フリガナ |  |    | 第 学年              |
| 名前   |  | 学年 | ( 年次)<br>( 年度入学生) |

#### 推薦理由

##### 1. 在学期間における全体の学習成績の状況（評定平均値）について

※高等学校における直近までの成績証明書を添付すること

##### 2. 学業面・生活態度について

##### 3. 本人の学校内外の活動（特別活動、部活動、ボランティア活動、取得資格、検定等）について

##### 4. その他特記事項等（家計状況等）について（記載は任意）

※ 上記2から4について、1枚に収まらない場合は裏面に記載することも可

